

きくがわ未来塾 実施報告書

菊川市市民協働センター

目的：地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

概要：菊川のまちの魅力を高めるためのまちづくりのプランを企画し、実際の活動につなげる。

講師：NPO 法人 NPO サプライズ 代表理事 飯倉清太氏
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師 総務省地域力創造アドバイザー
静岡大学地域創造学環客員教授 静岡鉄道株式会社顧問等

参加者：18人

会場：菊川市役所東館 プラザきくる3階会議室

時期	内容	詳細
6月7日 (火) 18:30-20:30	第1回講座 オリエンテーション「未来塾とは？」	講師による講義 きくがわ未来塾修了生による活動紹介
6月23日 (木) 18:30-20:30	第2回講座 個人企画発表&チーム分け	アイデアシート発表 投票 チーム分け
7月7日 (木) 18:30-20:30	第3回講座 チームディスカッション	チームのメンバーと実現可能なまちづくりプラン検討
8月4日 (木) 18:30-20:30	第4回講座 プレプレゼンテーション	チームごとにまちづくりプランを発表 フィードバック
9月8日 (木) 18:30-20:30	第5回講座 最終報告会	公開プレゼンテーション 賑わいづくり研究会・市役所職員・一般市民

※詳細は各回の報告書

令和4年度 人材育成講座 きくがわ未来塾

第1回 実施報告書

令和4年6月13日
菊川市市民協働センター



1. 講座の目的

- 地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

2. 目標

- 地域活動の担い手となる人材を発掘し、市民が自ら地域活動に一步踏み出す。
- 市民自らのアイデアを生かし、提言・実現できる場づくりを目指す。

3. 講師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏。1970 年静岡市生まれ。
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。
静岡大学地域創造学環客員教授。静岡鉄道株式会社顧問等

第 1 回 きくがわ未来塾

日 時：令和 4 年 6 月 7 日（火）18：30～20：30

会 場：プラザきくる 3 階会議室

内 容：オリエンテーション「未来塾とは？」

(1) 講師：飯倉清太氏

○「アイデア」とは

- ・新しいものではなく「過去の知識経験+新しい発見 (+1)」=アイデア
そのために小さなものでも見つけ、「仮説」を立てアウトプットする。
- ・「相手から組み立てる」
- ・「圧倒的当事者意識」
4つのスタンスと6つのスキル
- ・2・6・2の原則
興味のある人2をターゲットとして計画を作成する
- ・マーケティング、ターゲット、プロモーション、マネジメントを意識する。
- ・自分が何を売りたいか（アーティスト）の話、お客様が何を買いたいか（デザイナー）の視点が重要。

○まちづくり

- ・イベント的まちづくり・・・まずはやってみる。研究実践的なもの、経験を得る
- ・継続的まちづくり・・・ゴールに向かって皆で計画的に行う
- ・文化的まちづくり・・・続けることによって次の世代に対してつなげていく
- ・非金銭的な活動（地域コミュニティ・自治会・ボランティア・学生等）
- ・金銭的活動（大学・企業・個人）

◎これからの時代に必要なこと「経済的利益+社会問題の解決」

(2) 未来塾 OB の発表

①team439 代表 宇佐美竜一氏

タイトル：BASE～生まれ育った地域に感謝を込めて～

きくがわ未来塾に参加したことをきっかけに、全国各地で行われている大規模なアウトドアのスタッフとしての経験を、防災減災に興味の少ない子育て世代を対象に災害に備え生きる力を育もうとアウトドアイベント「きくがわテント村」を開催。その後、初めてのキャンプスクールや市からの委託事業「防災フェア」でテント泊体験などを実施する。防災士の資格も取得した。

②NPO法人うまのあと 理事長 小林雅幸氏

タイトル：「とにかく動いてみた結果！」

人生は有限である。40歳を過ぎて好きなことだけやると決めた。まずは模倣することから始め、仕事にしたい。社会課題に取り組むことは必要で、良い評価がお金に繋がる。また、人との繋がりが大事だと活動を続けている。

(3) アイデアシートの記入方法

- ・きくがわ未来塾は最終発表というアウトプットする場がある。まずはこの活動を実施することで〇〇の問題が解決するかもしれない。という仮説を立てる。
- ・シートを全部埋めなくてもよい。アイデアがない場合、サポート側にまわることも可能なので白紙でも構わない。

(4) 第2回未来塾について

- ・全員がアイデアシートを発表する。受講生は発表の中から最も共感できるテーマを選び、チームを作る

令和4年度 人材育成講座 きくがわ未来塾

第2回 実施報告書

令和4年7月6日
菊川市市民協働センター



1. 講座の目的

- 地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

2. 目標

- 地域活動の担い手となる人材を発掘し、市民が自ら地域活動に一步踏み出す。
- 市民自らのアイデアを生かし、提言・実現できる場づくりを目指す。

3. 講師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏。1970 年静岡市生まれ。
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。
静岡大学地域創造学環客員教授。静岡鉄道株式会社顧問等

第 2 回 きくがわ未来塾

日 時：令和 4 年 6 月 23 日（木）18：30～20：30

会 場：プラザきくる 3 階会議室

内 容：個人企画発表&チーム分け

(1) グループ発表

各自が考えてきたアイデアシートをグループ内で発表し、グループのメンバーから感想やアドバイスをもらいながら、内容をブラッシュアップさせた。

(2) アイデアプレゼン

1 人 1 分半の持ち時間で、アイデアシートの内容を参加者全員に向けて発表。

(アイデア内容) ◎選出されたプロジェクト

◎菊川で若者が草刈りする文化を創る「楽しく草刈り大作戦 in 菊川」

◎火剣山のふもとの美しい茶畑を眺めながらお茶を楽しむ「おそとで茶プロジェクト」

◎人と人をつなげる場所づくり「私を楽しむ生活を楽しむ」

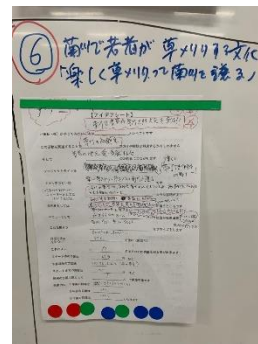
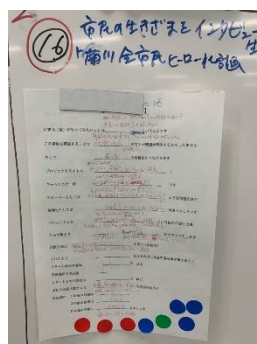
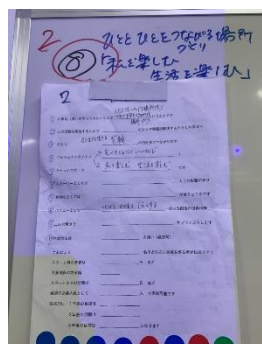
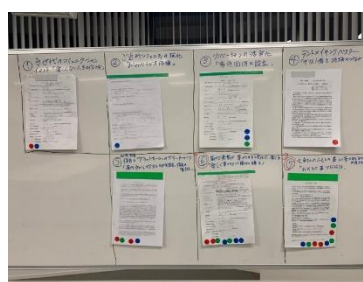
- ◎屋台で駄菓子屋健康相談「手づくり屋台で元気になろう！」
- ◎市民の生きざまをインタビュー「菊川全市民ヒーロー化計画」
 - ・多世代のコミュニケーションイベント「楽しくない人生の作り方」
 - ・ご近所コミュニティの強化「おしゃべりラジオ体操」
 - ・不動産を貸したいオーナーとリノベーションしたい事業者をつなぐ「家守団体を設立」
 - ・テントメイキングパスター「キリスト者と地域のつながり」
 - ・保育のプラットフォームづくり「菊川市から始まる幼児教育・保育の質向上」
 - ・大人から子どもへ本を贈る「送る本棚」
 - ・菊川グルメマップづくり「Kikugawa Eats」
 - ・ハンドメイド作家が集まる村「富田において！！」
 - ・悩みにぶつかり孤立した方の共生「お休みどころはここにあります」
 - ・朝日の下で体操する「Cheer UP」
 - ・地元の店の集客をお手伝い「フードトラックで賑わい創出」

(3) アイデア投票・チーム分け

アイデアプレゼンを聞いて共感した企画に各自投票し（各自3票・同じものに負数投票やじぶんに投票はNG）、上位5つのプロジェクトを選出。さらに、各々一緒に実践したいプロジェクトを選び、5つのチームを結成。

(4) 第3回未来塾について

アイデアを具体化し、チームのメンバーと実現可能なまちづくりを考える。



令和4年度 人材育成講座 きくがわ未来塾

第3回 実施報告書

令和4年7月12日
菊川市市民協働センター



1. 講座の目的

- 地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

2. 目標

- 地域活動の担い手となる人材を発掘し、市民が自ら地域活動に一步踏みだす。
- 市民自らのアイデアを生かし、提言・実現できる場づくりを目指す。

3. 講師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏。1970 年静岡市生まれ。
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。
静岡大学地域創造学環客員教授。静岡鉄道株式会社顧問等

第3回 きくがわ未来塾

日 時：令和4年7月7日（木）18：30～20：30

会 場：プラザきくる3階会議室

参加者：受講生14人、アドバイザー2人

内 容：チームディスカッション

(1) 講義：飯倉清太氏

- ① 問題を特定する（どんな問題が存在するのか調査する）
- ② 原因を分析する（原因の洗い出し、その中から核心的なものを抽出）
- ③ 解決策の立案（どのように解決するのか策の洗い出し、解決策立案・分析）
- ④ 解決策の実行（実行準備、解決策の実行、成果の評価、修正、継続的実行）

(2) チームディスカッション

第3回で発表したアイデアをもとにまちづくりプランを具体化。課題から仮説と目標を立て、その理由と背景をもとに解決策を考案。

(3) 第4回未来塾について

チームごとにまちづくりプランを発表する。

【レポート】フェイスブック掲載

7月7日、市民協働センター主催の「きくがわ未来塾」が開催され、新しい菊川のまちづくりを実践する市民15人が参加しました。

第3回となる今回は、企画の実現に向けて5つのグループごとにチームディスカッションを行いました。まず、講師の飯倉清太氏は「誰」が困っていて「何」を解決するのか、「なぜ」それをやるのか明確にするよう伝えました。また、途中何度も実行と修正を繰り返して企画の精度を上げていくよう話すと、参加者は熱心に聞き入りました。

5つのグループ、「火剣山周辺の観光PR」「高齢出産の方のコミュニティづくり」「河川敷周辺の草刈りによる防災」「コミュニティナースの駄菓子屋・地域住民の健康チェック」「人生を振り返る市民インタビュー・自己肯定感と郷土愛への気づき」のメンバーはそれぞれ、自分たちの企画がどうすれば共感と効果を得られるか、企画の具体性を練り上げながら真剣に話し合いを進めました。

令和4年度 人材育成講座 きくがわ未来塾

第4回 実施報告書

令和4年8月31日
菊川市市民協働センター



1. 講座の目的

- 地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

2. 目標

- 地域活動の担い手となる人材を発掘し、市民が自ら地域活動に一步踏み出す。
- 市民自らのアイデアを生かし、提言・実現できる場づくりを目指す。

3. 講師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏。1970 年静岡市生まれ。
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。
静岡大学地域創造学環客員教授。静岡鉄道株式会社顧問等

第 4 回 きくがわ未来塾

日 時：令和 4 年 8 月 4 日（木）18：30～20：30

会 場：プラザきくる 3 階会議室

参加者：受講生 14 人、アドバイザー 2 人

内 容：プレプレゼンテーション

(1) プレゼンテーション

チームごとにまちづくりプランを発表し、講師陣からフィードバックやアドバイスをもらう。

(2) チームディスカッション

公開プレゼンテーションに向けて企画をよりブラッシュアップさせる。

(3) 第 5 回未来塾について

公開プレゼンテーション

テーマ (内容)	関係部署
人と人が繋がる場所作り ・女性のための心身メンテナンスサロンと地元野菜を使ったカフェを空き家活用して行いたい	・地域支援課 ・企画政策課 ・福祉課
楽しく草刈り大作戦 in 菊川 ・若い人からシニア世代が取り組む仕組みづくり	・都市計画課 ・農林課 ・地域支援課
Well-being HITSURUGI ・地域愛を育む非剣山ハイキングマップづくり、火剣山ハイキング	・商工観光課 ・茶業振興課 ・健康づくり課
菊川全市民ヒーロー化計画 ・市民一人ひとりが人生や生きる意味を主体的に考えその内容、その人らしさをどんな時も大切にされる未来を描く。	・地域支援課 ・営業戦略課 ・長寿介護課
屋台で駄菓子屋健康相談 ・子育て中のお母さんにパワーチャージできる場を公園で行いたい ・気軽にお出かけできる駄菓子イベント	・子育て応援課 ・こども政策課 ・都市計画課

○報告書用レポート(400字)

8月4日、市民協働センター主催の「きくがわ未来塾」が開催され、新しい菊川のまちづくりを実践する市民16人が参加しました。

今回の講座では9月8日の最終回プレゼンテーションを前に、各チームがプレプレゼンテーションを行いました。

5つのチームはそれぞれブラッシュアップしてきた企画構想を発表。また、それに加えこの1カ月で課題解決に向けて実際に取り組んでみたアクションとその結果等を報告しました。

講師の飯倉倉清太氏やアドバイザー(未来塾OB)からは、ここからさらに企画の実効性を高めるためのアドバイスや、資金調達方法の可能性、プレゼンのスキルアップのための手法などを教えていただきました。

最終回のプレゼンテーションに向け、各チームはさらに真剣さを増した表情で企画実践に向けて取り組みました。

令和4年度 人材育成講座 きくがわ未来塾

第5回 実施報告書

令和4年9月28日
菊川市市民協働センター



1. 講座の目的

- 地域の課題解決や魅力発信のために、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図り、新たに市民活動に参画する人材を育成する。

2. 目標

- 地域活動の担い手となる人材を発掘し、市民が自ら地域活動に一步踏み出す。
- 市民自らのアイデアを生かし、提言・実現できる場づくりを目指す。

3. 講師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏。1970 年静岡市生まれ。
静岡県地域づくりアドバイザー
内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。
静岡大学地域創造学環客員教授。静岡鉄道株式会社顧問等

日 時：令和 4 年 9 月 8 日（木）18：30～20：30

会 場：プラザきくる 3 階会議室

参加者：受講生 16 人、アドバイザー 2 人

内 容：公開プレプレゼンテーション

1. 開 会

- 挨拶 菊川市役所地域支援課 石川浩朗課長

2. プレゼンテーション・質疑応答

- (1) チームごとにまちづくりプランを発表。
- ① 育てる草刈りプロジェクト
 - ② ほめ言葉と笑顔のだがし屋
 - ③ well-being HITSURUGI
 - ④ 人と人が繋がる場所作り
 - ⑤ きくがわ全市民ヒーロー化計画

3. 講 評

- アドバイザー
- ①「育てる草刈りプロジェクト」チームはスポンサーを見つけるのもよいのでは

ないか。

- ・「ほめ言葉と笑顔のだかし屋」チームは、子育ての悩みなら市内で専門的に活動する団体（リボン）と協力してはどうか。
- ・「well-being HITSURUGI」チームは、耕作放棄茶畑は全部抜こうとすると大変なので、カットして迷路にするなど実現可能なアイデアが見つかるといい。
- ・「人と人が繋がる場所作り」チームは、家賃や自分たちの条件に対して数字をしっかりと出すことが必要。
- ・「きくがわ全市民ヒーロー化計画」チームは、菊川市で実施したフォーマットが市外へ広がるといい。

②きくがわ未来塾修了生）：NPO 法人うまのあと代表 小林雅幸氏

- ・未来塾の期間中に実践としてすでに第一歩を踏み出したことが素晴らしい。
ここがわ未来塾修了生）：team439 代表 宇佐美竜一氏
からは横のつながりを大切に活動を継続してほしい。

4. まとめ（総評）

○講師 特定非営利活動法人 NPO サプライズ代表理事 飯倉清太氏

- ・課題や目標、手段を順序立てて発表し参加者の思いを見える化できた。多くの人とつながって菊川をさらに発展させてほしい。
今後自分が手伝えることがあったら、声を掛けてください。

「きくがわ未来塾」プレゼンテーション コメント

① 育てる草刈りプロジェクト

- ・ 高刈りは面白そうだった。数年後はどうなるかを見たいと思った。
- ・ ジズライザーは、使っている人が多いと思う。説明書にも高刈りがあるが、どの位の頻度でどの位の期間がかかるのか興味がある。自分もうすめのを3~4年使ってるが、まだまだだ。
- ・ 育てる草刈りがそのまま楽しい草刈りにつながるのか？少し無理があるように感じた。このプロジェクトが高齢化、担い手不足に直接つながるのかやや疑問。
- ・ 私も庭の草刈りを月1回やっている。質問で女性でもできるかということがありましたが、電気草刈り機であれば、手の震えがなく簡単に出来る。刈った草をその場に放置することで、地面に日が当たらず草が生えにくくなるのではないのでしょうか。ためしにやってみてはいかがでしょう？うちの木の下は生えにくくなった。
- ・ 着眼点はおもしろいなと思った。いろいろな場所に適用できると良いですね。
- ・ 菊川市内の景観改良にはとても期待できる。市内には水路が多く、美しい田園風景の素地があると思う。ただ、生え過ぎた草木が残念だと感じていたため、とても期待したい取組。人の交流、移動も（増える）つながる。
- ・ ジズライザーメーカーとの協力や市の補助金（農林課や都市計画課など）
- ・ 草刈りは気軽に達成感を味わうワークショップにもなりそうだ。
- ・ 今後ますます大きな地域課題となることが予測される草刈り。楽しく前向きに実行しようという発想が良いと思う。
- ・ セイタカアワダチソウを刈り取る時期を逃すと女性には難しいほどになる。今日の発表を実践してみようと思った。横展開したら素敵だ。
- ・ 草の植生を変えていくことは大変だと思った。そのためまずは草刈りの楽しさをどの様に伝えて行くかも重要だと思った。
- ・ 花の話があったが、ぜひ研究していただければと思う。きっと愛着もわくと思うので。
- ・ 草の外来種が多い。日本の在来種で広葉の草があればと思う。可能であれば実験してください。
- ・ 実際市民からも草刈りが大変という声を耳にするが、負担を軽減することができれば非常に有効。
- ・ 単純に広葉雑草とイネ科雑草の違いだと面白かった。まだ草刈りをしたことがないため高刈りをしてみたいと思う。
- ・ シロツメクサは皆好きなので、市内の一部でも、好まれない雑草から変わればとてもいいと思う。
- ・ クローバーの方がイネ科より繁殖力が高いのか？高刈りはクローバーの繁殖にプラスに働くのか？
- ・ 研究により草の種類を見極めることで効果があるかも。少なくとも低い草が増えれば刈る回数は減ると思う。
- ・ 草刈り＝つまらない、重労働というのが当たり前ようになっていて、そこから考え直す必要があると分かった。
- ・ ボランティアの人出を有効活用することで、コストを削減し今後も取組を持続しやすいのが良いと思った。
- ・ 若い世代がプロジェクトを実行することの影響力はとても強いと感じた。
- ・ 実践する中で高刈りのメリットを発見できたことが素晴らしいと思った。今回は元々生育していた

シロツメクサとセイタカアワダチソウに着目し、特性から提案できたところは良いと思った。
今後の研究の中でシロツメクサもセイタカアワダチソウも外来種なので、
在来種の草でより良いものが見つかると思える。

- ・刈らなくていい様に植生を変えるという発想がとても面白い。雑草の中にも強弱があると思うので、広葉雑草が生き残れるか、そこを是非研究してほしい。
- ・高刈りという解決策は面白い。クローバーを残すのは面白いが、ランドスケープデザインを加えたい。地域性を感じられる場所にしたい。植物と人との共生を楽しめる「シェアガーデン」など。小さいエリアからより育てる時代の庭づくりを考えて見たい。
※おぶせオープンガーデン、シモシタ園藝部など
- ・雑草をお酒（ジン）にしたり、お茶にするプロジェクトは他地域でもあるので、そのように草を飲む食べるということも楽しいかなと思いました。面白いと思った！
- ・イネ科の花粉症がひどいので。イネ科の雑草が減ることは個人的には大変うれしい。
今後どうなっていくのか楽しみ。
- ・地域の課題解決を視点を変えて取り組む考えは良いことだと思った。
苦労の中でも楽しみを見つけることが良い。多くの方に興味を持ってもらいたい。
- ・草刈りの工夫など教えてもらった。
- ・若者たちが草刈りに目を向けていることだけでも素晴らしい。まっすぐなハートが素敵。
- ・着眼点が新しく、実証している点も説得力があった。また、資料のクオリティが高い点も good! だ。
- ・道路脇面、河川堤防の草刈りに活かせるのではないかな？
- ・刈るだけが草刈りだと思っていたけど、「育てる」という発想が魅力的だった。
- ・しっかり調べた上で「植生」という形の草刈りをするという、長い目で見た河川クリーンは、目的があって、育てる、変化するという形を目で見てわかる。
- ・育てる草刈りというテーマがいいなと思った。植生を変えるという考え方は初めて知った。
面白いですね！エンドレスでやりつづけるのではなく、進んでいくイメージがいいと思った。
- ・高刈りで体力を使う草刈りの負担を軽くできる！！魅力的だと思った！！
私も庭の草が伸びてくると草むしりをするが、時々草刈り機でやりたいと思うようになり、
できなかつたらしょうがないな…といつも機会は使わないけど、女性でもできるようならやってみようか…と思った！
- ・考えが新しい。そのため、市外に対しPRをたくさんし、理解を得られることで交流人口の増加につながったり、まちのPRにつながるのでは。
- ・いつもの草刈り作業を少し工夫するだけで実現できるのが良いなと思いました。ぜひ「育てる草刈り」やってみたい。
- ・草刈り未経験者に、まずは体験して頂けたら興味を持つ人が増えるかも…と思った。
成人した人は一度は体験！！草刈り事情は我が家も悩み。

「きくがわ未来塾」プレゼンテーション コメント

② ほめ言葉と笑顔の다가し屋

- ・ 質問者の方で専門家に来る日を作ると安心感があるというアイデアが良かった。
- ・ 組み合わせがおもしろいと思います。アンケートは子ども・子育て支援事業課とかでもとっているはずなので、自分たちの結果とのギャップなどもふまえると説明しやすくなるのではないのでしょうか。
- ・ 核家族が進んでいる以上、孤独感を感じている母親は多いと思う。良い試みだと思う。子どもさんが中高生を持つ母親に対しどういう策を打つのが課題。
- ・ 幼いころの親の関わり方が大切だと思う。地域、会社などのくくりでない方が、本音を話しやすいのではないかと思いますので、この取組みが広がればいいなと思う。
- ・ 子育てはつらい思いよりも楽しい思いでしてほしいと思う。人と人が関わる場をつくることはとても良いと思う。다가し屋さん楽しそうだ！
- ・ お母さんたちの子育てにおけるキモチの苦労や悩みを柔らかく受け入れていくことが大切だということテーマにされている。僕には耳に痛いテーマですがとてもすばらしいまちになる期待。
- ・ (お母さんのパワーチャージ) = (自分の時間がほしい) →子どもとお母さんを引きはなす。
- ・ 1～2Hのおあづかりや探検、ツアーなどでお母さんの時間を作る。(リボンさんとコラボ)
- ・ 駄菓子屋というみんなが好きで手軽に用意できるツールを活用して、お母さんの健康相談を行うアイデアが良い。
- ・ イベント時期により、開催場所を選べばよいイベントになりそう。褒めること、褒められること、大切だ^^
- ・ 発表のプロジェクトは、まず人が集まる仕組み作りが重要で、肝であると感じた。다가し屋にだす商品子どもたちが作ったお菓子やおもちゃを実際に売ってみてもどうでしょうか。子どもたちが頑張った姿は褒めやすく、子どもの友達家族もくるきっかけになるのではないだろうか。
- ・ せひ取組みの拡大をしてほしいと思う。
- ・ 会話できる場づくりを今後も進めてください。屋根のある場所や店舗等(図書館や児童館)の活用も検討してください。
- ・ お母さんの苦労に着目して、ケアをしようという活動は非常に着眼点が素晴らしいと感じた。
- ・ 다가し屋であれば、大人も子どもも気軽に行ける場というのは良いと思った。
- ・ この地域の出身でないお母さんにとって、知り合いがおらず話し相手もない人がいると思う。公園でふとコミュニケーションが始まり、広がっていけばいいと思う。
- ・ アンケートの活用手段は？(アンケート結果のその先にあるものがターゲットの役に立つものになると思う)
- ・ ほめる手段は？(急にほめるのは難しいのではないかと？ほめるたえのきっかけとなる活動があるとほめやすいかも)
- ・ 子どもさんに対し、悩みをかかえる親御さんが多いので、大変良いと思った。子どもさんも親も楽しめる場、悩みを話せる場があるととても良い。
- ・ お母さん個人の努力によるパワーチャージ、リフレッシュはうまくできる人とそうでない人(環境や性格の差もあり)がいると思うので、支えが多くなるのは良いことだと思った。
- ・ "悩みを話す場"のように硬いイメージにしてしまうと、悩みを抱えていても輪の中に入っていきづらい人もいると思われるので、どうやったらその人の心に寄り添えるかを考える必要があると思った。

- ・ 自分が小さいころはだがし屋には子どもしかいなかった。親子で共有できるということは素晴らしいことだと思った。
- ・ 子育ては楽しいもの、幸せそのもの、本来そうであるものをそのとおり思える場づくりになると思う。
- ・ この取組が成長して、市内のいろんなところに常設されるだがし屋さんになると思う。
→まちの中の空き店舗に入れるほどになってほしい。
- ・ 子どもはいうこと聞かないもの。反抗するもの。親が心にゆとりを持つことで、親子が心地よくなる場所になる。
- ・ ハグをはずかしくしない、ハグであふれるまちになるといいと思う。
- ・ 自分も1歳と5歳の子どもがいて、奥さんは日々大変な思いをしています。だがし屋は確かに子どもウケがいいと思う。プラスで0歳~2歳の子どもを対象にした何かがあればいいかと思う。
- ・ ハグをはずがおもしろい。講演と駄菓子屋の組み合わせも最高。アンケートは紙でしょうか？
福祉まちづくりの本「超高齢社会の介護はおもしろい」の中にあるように、5年10年の長いコミュニケーションで自然と相談し合える地域ができています。この駄菓子屋が長く地域に根付き、紙ではなく直接。公園、駄菓子が日常化していくと嬉しい。
- ・ 保護者の孤独は社会課題でもあると思うので、とても貴重な企画だと思う。
- ・ 実際に公園で実施してアンケートを取り、分析までしたのが素晴らしいと思った。
みんなのアソビバでは、多くの親子が集まってハグ写真がたくさん撮れたらいいですね。
- ・ 子育て世代の生の声を聞き、課題解決に向けた良い取り組みだと思った。少しずつ視野を広げ、多くの方が笑顔になるといい。口コミでも充分広がる事業だと思う。耳や目からの情報、お互いが話すなどのきっかけづくりが重要だ。
- ・ 子育てママや、駄菓子屋さんのイベント…など、私にもお手伝いできることがありそうなプロジェクトだ。
- ・ 何かをし、どうにかしてお母さんを応援したいという優しい心が菊川にあることを知っただけでも幸せだ。
- ・ 「既存組織や制度からサポートを受けられない親御さん」が相当数いらっしゃるの、何らかの行政的なアプローチの必要性を感じた。※パワーチャージの場に公園などの公共エリアを活用してください！
- ・ 女性目線の計画で、アンケート結果でも母親の回答が企画とマッチしていると感じた。男目線では、少し考えが及ばない部分があった。
- ・ アンケートを実施して、菊川に住んでいるお母さんたちの実際のニーズを聞き出していいなと思った。
- ・ 専門的な職種や行政など一緒に入ってやってやる事業にするといい！！人数が増えた時、事前に高校生等に募集する！！
- ・ 「ハグます」というワードがわかりやすくおもしろいので、もっと前面に出しても良いかと思いました。自分の子ども（5歳・3歳）も駄菓子屋に行きたがる。
- ・ 私も母なので分かる！！
- ・ ほめる、笑顔、とても大事だと思う！！
- ・ 子育てを楽しくするためのツールのひとつになると思い、様々な楽しみ方ができると今後が期待。是非、ご協力させていただきたいと思う。

「きくがわ未来塾」プレゼンテーション コメント

③ well-being HITSURUGI

- ・ 具体的なプランも次々と生まれているようで良い企画だと思う。
- ・ ウォーキングルートの中に、おすすめチェアリングスポット（休憩場所）があるといいのではないか。木陰や景色など。
- ・ 恥ずかしながら火剣山に行ったことがありません。イベントを企画していただければ参加したいと思った。市民全体へのPRを積極的にやって欲しい。
- ・ マップをスマホでも見れるようにすれば、紙の節約になるのではないかと思う。
このくらい歩いたらこれだけのカロリーが消費されるなども表示したらどうでしょう。
健康に気を付ける人は興味あるのでは。火剣山まで行く方法は？駐車場問題も解決できるといい。顔出しパネル4,800円？くらいでできるのはすごい。
- ・ インスタ映えするスポット、ここでしか手に入ることができないものが生まれるといいと思う。
- ・ 火剣山は、菊川のお茶のイメージを最も視覚的にうったえる象徴的な場所だと思う。そこを核に様々な拡がりをもたせたサービスを加えていくところが、菊川のブランド向上につながると感じる。それが産業のお茶の回復にもつながる。
- ・ 放棄茶園を使った迷路+顔ハメパネル→（茶業振興課）
- ・ 指定管理者にショップ運営必須とする→カフェやツアー、体験の販売
- ・ 楽しく前向きに実践していくところが良いと思う。
- ・ 健康マイレージとタグを組むアイデアが面白いと思いました。広がりがある企画で楽しかった
- ・ 今、静岡県内の伊東市、熱海市が昭和レトロで若者が集まっているらしい。
現在ある資源の再発見というか、知ってもらうことが人が集まるきっかけとなるプロジェクト
だと思った。ティーテラス、レトロな茶瓶はキーワードだと感じた。
- ・ ハイキングコース〇回達成なども良いと思う。
- ・ テラスに行くまでのウォーキングマップの作成。土日だけでもテラスで有料のお茶やコーヒーを出せないか。お菓子は菊川市内の菓子を週ごとに変更とかしたらどうですか。
- ・ 連携やこれによって生じるであろう効果まで考えられていて、研究としてレベルが高い。
- ・ 火剣山は茶畑もあり、菊川らしい風景を楽しめるのだと思った。
- ・ 健康マイレージに入れることで参加者の広がり、継続性が出ると思った。
- ・ 健康マイレージとのコラボは実現可能なものだと思う。テラスはとても魅力的だ。
- ・ マップの収益化がどうなるのか？スポンサーをつける？マップを売る？マップがないとできないような活動を企画する？（活動参加費をもらう？）宝探しや冒険みたいなイメージ。
- ・ 茶畑テラスだけでも大いに楽しめると思った。いろいろなアイデアが広がっていく企画だ。
- ・ コロナ渦を経た若年層の健康意識の高まりや、消費行動の変容は、行政職員である自分たちも念頭に置かなければならないと思った。
- ・ キャンパーでない方や、遠保にお住まいで火剣山に親しみのない方にも魅力を届けるためにはどうすればよいかも考えていきたい。
- ・ 「火剣山」名前と場所は知っていたが魅力を知らなかった。現地で見ないとわからない、行くと達成感がえられることが良いと思っていたので、知らない人が行きやすくするマップ作りは名案だと思う。

- ・ 「お茶の菊川」と結びつけられるカフェ、実現困難そうでしたが、歩いた後に立ち寄れる場所、車を止められる場所があると良いと思う。ビュースポットもあると良いと思う。
- ・ 耕作放棄地の活用と組み合わせることができるのも良いと思う。
- ・ 火剣山初めて知った。すみません…。掛川でいうと粟ヶ岳のようなところかなと勝手にイメージした。イベントごとになってしまうが、ロゲイニングを開催しても楽しいのではと思った。
- ・ 参加したい。県内出身者ですが茶畑のない地域。まずティーテラス、前提としてめちゃくちゃ魅力的だ。なんて贅沢な。ハイキングマップ、デジタルビンゴ、もう行きたいと思っている。掛川市民になりたてですが私もまぜてくださいーい。笑
- ・ well-beingというテーマが素敵だと思う。この取組に参加することで心身のケアにつながるというなと感じた。イギリスで進んでいる「社会的処方」も近い切り口になるかも。
- ・ 提案された取り組みをやることによって、火剣山の知名度が向上し、市民の方も行ってみたいと思う場所になるのでは、と思った。今後の展開に期待している。レベルの高いプレゼンだった。スライドも説明も大変良かった。
- ・ 市内屈指の貴重な観光資源を生かした素晴らしい企画だ。素材の味をそのまま生かし、よりよく魅せられる取組だ。地域の人とふれあい、声を聞き、一体となった取り組みで良いと思う。年代、性別、時期（季節）など、ターゲットを変えることで色々な楽しみ方ができると思う。
- ・ マップを作ることで魅力を言語がしていくことが素晴らしいと思った。耕作放棄地の活用も期待していきたい。少しでも茶業の振興になって欲しい。
- ・ 障害を持っている方や子ども連れの方がいける優しい場所になったら、いいネ！
- ・ 「コト化・トキ化・イミ化」のワードが印象に残りました。HITSURUGIのロゴのフォントも素敵だった。
- ・ 火剣山にハイキングコースがあることは知らなかった。火剣山の山頂までは行ったことがある（10年くらい前）。健康づくり課と協働できる案件で素晴らしい。
- ・ 地元の人にも火剣山の魅力を再発見できるきっかけになり、地元からもより外に向けて発信する機会が増えていくのかなと思った。
- ・ 花畑をつくるのはハードルが高いのかなと感じた。
- ・ 市外からの火剣山へ来てもらう。テラスは地元の人たちはわざわざ行かない（お茶農家）。火剣山以外でも、ティーテラス（出張）があったらもっといい。イベントとして牧之原台地にも来て欲しい。ノルディックウォークとコラボとか。
- ・ 写真がたくさんあってイメージが付きやすいです。Well-beingは今広まっている考え方でそこを取り入れることで社会的意義も高まっていいなと思った。
- ・ 人がお金を出してくれるようなマップ作り、魅力的です！！（収益化頑張ってください！！）健康とつなげることはいいなと思った。健康マイレージ化いいと思う！！
- ・ 動画が良かった！元々ある資源（火剣山）を活用することがいいと思った。菊川にある良いものをもっとPRしていくと、最強の観光資源になりそう。
（最近のアウトドアブームにつながりそうだ）私も行ったことがないので今月行く。
菊川の人は長いすべり台が好きだと聞きました。子ども向けなPR×アウトドアでもいかがでしょう？
- ・ 「ちょっと幸せになる」という「ちょっと」が、行ってみようかなという思いにつながった。
- ・ ”ちょっと元気、ちょっと幸せ”というのが良いですね。デジタルビンゴ興味ある！
様々な展開が考えられていて魅力的だなと思った。県外の人が#茶畑さんぽ #茶畑のある風景 を使うのかなーと少し疑問だった。

- ・ 田舎に住んでいるので、田舎の良さに気付いてなかった。同じように思う人も多いと思うので、楽しく発信して頂いて色んな人に気付きを与えて欲しい。
- ・ 顔ハメパネルとても良いと思う！！きくのんのパネルも作って欲しい！！
マインドフルネス×テラス×茶のイベントやってほしい！！

「きくがわ未来塾」プレゼンテーション コメント

④ 人と人が繋がる場所づくり

- ・ 菊川市には、あまり空き家物件が少ないという印象。
- ・ キッチンカーとかでいろいろ回りながらPRしていくのもいいのではないのでしょうか。
- ・ SNS等を利用している人はそれぞれの意見や考えを発信することができるが、高齢者等の意見の集約できる機会がありません。長く生きているからこそいろんな知恵があると思います。収支ベースの確保ができるか疑問。
- ・ マッサージをして、おいしい料理を食べることが出来ればいいと思う。
- ・ 2人のビジュアルがいいので女性だけでなく男性をターゲットにする企画もやってみるのもいいのかなと思う。美に貪欲な男性も多くいると思う。
- ・ 古民家リフォームのイメージ？資金面の計画が必要かも…
- ・ 菊川市の魅力を楽しむためには農家や社は魅力的現実的な運営の難しさはあると思うが期待したい
- ・ 火剣山を指定管理を取ってカフェと空きバンガローでやれる。
- ・ 数字面の詰めをやった方がいい。
- ・ より現実的に内容を検討し、実現してほしいと感じた。
- ・ 発信をしなければ始まらない いい言葉ですネ そして情報も集まる。それを見せて頂いた。
- ・ 初期投資にかかる費用は課題と感じた。
- ・ 人と人とがつながる場所がカフェ、サロンがなりえるかはニーズ調査を試みる必要があると感じた。
- ・ カフェ周辺の農地で作った野菜を野菜を使うことができれば耕作放棄地対策にもなる。
- ・ 空き家については売りたい方が多い状況ですので借は少ない状況。
- ・ 個人交渉で所有者と話しをすれば安く借用することもできますがリノベーション費用が高くなる。
- ・ 2.3万円の家賃は可能ですが全体的には改修内容により費用UPすることが考えられる。
- ・ 空き家は増えているが実際探してみるとなかなか好条件の物件は難しい。
- ・ 空き家はたくさんあると思いますが、条件に合う空き家を見つけることが難しいと思った。
- ・ サロンとカフェという2つの楽しみがあることで集客も見込めるそうですが、費用もかかりそうなしっかり練って実践してほしい。
- ・ 空き家のリノベーション活用で理想と現実のギャップが大きいと思う。
- ・ いい物件があると良いのですが…
- ・ SNSが普及した今であっても直接会って繋がる」場が必要であることが感じられた。
- ・ 昼と夜で形態が違う営業をすることはとてもいいアイデアだと思った。
- ・ 実際に空き家を探している探してみたところがいいと思う。
- ・ 地域の農家とのつながりもいいと思う。
- ・ 空き家オーナーとのマッチングがうまくいくと良い。
- ・ つながる場ということでしたので、是非ケアサロン・café以外でも何かやってほしいと思う。
例えば、サロンに来た女性と地元農家さんをつなぐなど…
- ・ コロナ禍だからこそオフラインの繋がりは美しい。
- ・ 集まるためのプログラムはいろいろありますが、その地域、場、人に寄り添ったテーマが入ると面白そう。

- ・ 場づくりという共通項が自身ともあったので共感した。
- ・ リノベーションは費用がかかるかと思いますが頑張ってください。
- ・ 希望が叶う空き家の物件が見つかるといいですね。
- ・ 自身の経験、周囲の環境を活かし、広げた取り組みです。
- ・ 空き家も地域の大きな課題です。人をつなげ空いた時間や建物を活用した裾展開を期待したい。
- ・ プロジェクトとっても素敵かと思う。
- ・ 市内のイベントなどとコラボできるなと思う。
- ・ 活動する仲間が集まりコミュニティーができればすばらしい事だと思う。
- ・ うちの妻、働いている女性はとても疲れていると思われるのでフェムケアが広がればいいなと思う。
- ・ 若い二人が頑張ってくれた。とても素敵なプレゼンだった。お手伝いができれば嬉しい。
- ・ 「リアルな出会い人とのつながり」は今の時代に求められる大切なことだと思う。
- ・ プレゼンも具体的で目的がハッキリしていて素晴らしかった。
- ・ 市でも空き家問題にも触れた企画 田舎…駐車スペースが欲しい。
- ・ 費用的な問題があると感じた。
- ・ 地元の食材を使ったお弁当は食べてみたいと思った。
- ・ 空き家が見つかって実現化されたらいいなと思う。
- ・ 全体的にフワッとしていたのもう少しまとまった状態の話を知りたかった。
- ・ 空き家リノベーションをして人を集める場所を作る。
- ・ コミュニティ作りをしてSNSでファン作りをする。
- ・ ファン作りをするならSNSでリノベーションをしたい人を集めてその過程をUPする。
- ・ 「私がこの壁を塗った塗」とかの思いが長くファンとなりコミュニティーとなる。
- ・ 空き家を探して本気でやろうというのが伝わった。
- ・ 現在のところのお話してとても楽しみな事業だと思った。女性特有の悩みありますよね。
- ・ 私も看護師で市立病院で働いていた時産婦人科が長かったのでとても勉強したし現在は産婦人科ではないけどよく質問を受けたりする。
- ・ フェムケアサロン、野菜カフェ菊川にできたら行きたいと思う。
- ・ 女性の強い味方になると思う。
- ・ 助け合えるシステムにしたいというのがいいと思った。
- ・ 空き家問題にフォーカスすることが今後の活動の展開において大切になっていくと思う。
- ・ 費用面など大変かもしれませんが色々な補助金等活用できたら良い。
- ・ 色々な補助金があると思いますが、今から調べて何が必要か見ておくと動き出しがスムーズになると思う。
- ・ 空き家が見つかるといいですね。
- ・ 良い空き家が見つかりますように！！
- ・ 直接会って話す機会が減少化している現代社会においてまさに必要とされるプロジェクトだと思いたいと思う。

「きくがわ未来塾」プレゼンテーション コメント

⑤ きくがわ全市民ヒーロー化計画

- ・ 7年前に母が亡くなった。遺品を整理していく中に日記が見つかり読んでみるとこんなことを考えていたのかと読んで涙が出てきた。すい臓ガンだったので告知され9か月以内の短い期間だったためただ悲しいという気持ちのみだった。
- ・ 一人一人に焦点を当てる面白いアイデアだ。
- ・ インタビュー技術が必要？
- ・ 菊川市に来た時に市民性が内向的に感じられた。
- ・ 自己肯定感を持つ方が増えることは市民の誇り。
- ・ 人が菊川の魅力になると思う。
- ・ 年齢差が必要かも？年寄同士だと否定し合うことがよくある。
- ・ 専門の人がヒアリングするのがいいかも。
- ・ 世代間交流は良さそう⇒歴史文化+草刈りや森林竹林整備敬称。
- ・ 素晴らしい発想取組み 菊川発の全国に誇る取組みになると思った。
- ・ 肯定的な話、話し方は人を元気にさせる。
- ・ ヒーローインタビューまずは家族にしてみる。
- ・ 「しあわせのわ」が人と人との間で広がるイメージを持てた。
- ・ 聞き手と話し手は初対面でも大丈夫なのか？
- ・ 聞き手にカウンセリング能力が問われるのではないか。
- ・ 誰でもインタビュアーになれるフォーマットが欲しい。
- ・ 孫の心に残れば素晴らしいことになる。
- ・ 是非広げて欲しい。
- ・ プレゼン素晴らしい。
- ・ 自分が主人公として生きがいにつながる。
- ・ 特に世代間交流についてはすごく重要なことだと思うのでぜひ。
- ・ こういった自分を誇る機会がないため自分の思っていることを言語化するのは話し手側にとってもいい機会だと思う。
- ・ 80後半の母親が昔の話をする場合がありますが忙しさもありあまり相手にしなかったがこれからは聞いてあげる。
- ・ 人生会議がなぜそんなに大切なのか？
- ・ これからノートを通じて自分のことがふるさとの歴史の1ページとなれるのは素晴らしいことだ。
- ・ ぜひ実現してほしい。
- ・ 話を聞く、話をするにより自身相手を知ることが出来尊重できるようになると感じた。
- ・ 自身の人生では経験できないことを共有することにより知識や生き方、その人が生きてきた
- ・ 土地の魅力など自身の人生の肥やしとなるものが得られると思った。
- ・ すばらしい公演だった。
- ・ 人に話を聞いてもらうことはとても心のケアになることだと思うのでぜひ実現していただきたい。

- ・ 「菊川モデル」の発信を楽しみにしている。
- ・ さっそく家族や親族でやってみたいがとても難しく感じた。
- ・ インタビューフォーマットを公開してほしい。
- ・ 自分らしさ、自分らしく生きることを多くの人と共有できることは生きていくための大きな力になると思う。
- ・ 世代間交流に是非活用したいと思う。
- ・ 自分の町にはこんな人がいるんだという気づきにつながるともいい機会だ。
- ・ 全市民に魅力がありヒーロー化に共感する。
- ・ この計画と並行して「ありがとう」が日常化するといいと思う。
- ・ 非日常と日常の両輪で出来ると良いなと思う。
- ・ ヒーロー化と同じヒーローインタビュー化できたらいいなと思う。
- ・ 人生の記録、家族同士で聞きにくいことを記事として残せるのは貴重ななと思った。
- ・ 岸政彦さんの「東京の生活史」が参考になるかも。
- ・ とてもいい提案だと思う。
- ・ SNSで自分のことで発信できる世の中だがそこでは誇れないこともある。
- ・ SNSをやらない人もいるから機会があれば話してくれる人、話したい人もいると思う。
- ・ 取組みが広がってほしいと思う。
- ・ 自信を振り返り、今後も考えることは大切なことだ。
- ・ 自分を知ってもらい相手を知る 世代を超えて交流も重要なことだ。
- ・ しあわせのわが市内、市外、全国、世界へ。素敵なことだ。
- ・ 自分自身の価値を改めて確認し、高められる取り組みだ。
- ・ 力強いプレゼンだった 意味深い…すごい。
- ・ 第三者が話すことで話しやすかったりすると思う。
- ・ 「人生会議」の作成をヒーローインタビュー形式というのがざん折だと感じた。
- ・ なかなか取組みにくいテーマの話だから色々な世代に広がればと思う。
- ・ 全世代的菊川市民全員が参加できる素晴らしいプロジェクトだと思う。
- ・ とても興味を持った。
- ・ 人と人とのコミュニケーションが生まれる企画だと感じた。
- ・ 人生を振りかえり人に話すことは大切だと思う。
- ・ そういう場が菊川でたくさんできたらいいなと思う。
- ・ 自治会等の人々の経歴を知る機会や仕組みができるのいいと感じた。
- ・ 人の尊厳を尊重したとてもいいアプローチだと思う。
- ・ 2人1組でその方の生きざまを語り合うコミュニケーションツール。
- ・ 色々な場で使えると思った。
- ・ 是非コラボしたい。
- ・ 色々な所でこのチームの人がいなくても広げている仕組みになっているところが。広がりがあっていいなと思う。
- ・ デイサービスの連絡帳に体温・血圧以外でヒーローインタビュー素晴らしい。
- ・ ヒーローインタビューが色々な所に使えていいと思う。
- ・ 話し手の人生の背景がみえていいと思う。
- ・ 全ての人がヒーローになれる素晴らしいプロジェクトだと思う。

- ・ ACPと組み合わせてとてもその人を前向きにさせてくれる事業にしてほしい。
- ・ 1人1人が生きる楽しさを再確認することは健康寿命が延びることにもつながると思う。
- ・ 生きる楽しさを人生をお互いが分かりあうことは地域の縦横のつながりの強化につながると思う。
- ・ ヒーローという響きがいいと思う。
- ・ 菊川市民だとかっこいいという感じがしてすごくいいと思った。
- ・ デイサービスなどの個人情報に入れるのが素敵だと思った。
- ・ 仲間になりたいと思った。
- ・ とてもとてもすてきな計画だと思う。
- ・ 世代を超えてのコミュニケーションが持てる場でいいなと思った。
- ・ 研修などでも活用できそう。

育てる草刈り プロジェクト

刈る時代から、育てる時代へ

チームメンバー

渥美 嘉樹 赤堀 愁 宇佐美 竜一 小林 雅幸

「育てる草刈り」とは

植生を改良していく、新しい育成型の草刈り。

「育てる草刈り」は、草刈りの高齢化・担い手不足の問題を解決する事ができるかもしれない。

プレゼンの結論

我々は「育てる草刈りプロジェクト」を始動させ、菊川の草刈りの問題の解決を目指します。

そもそも、草刈りの問題点は

課題の分析

解決方法

草刈りの問題

景観が良くない

見通しが悪い

害虫が発生

河川管理時に邪魔

行政が刈る

草刈りボランティア

不要な所は刈らない

解決方法の考察

解決方法

行政が刈る

ボランティア草刈り

不要な所は刈らない

課題

水害対策予算の圧迫

高齢化・なり手不足

必要な所も刈れてない

解決方法の考察

解決方法

課題

行政が刈る

水害対策予算の圧迫

ボランティア草刈り

高齢化・なり手不足

不要な所は刈らない

必要な所も刈れてない

アプローチ

「高齢化・なり手不足」の解決策

解決方法

具体的手段

高齢化・なり手不足

草刈りを**楽しく**する

草刈りを**簡単**にする

育てる草刈り

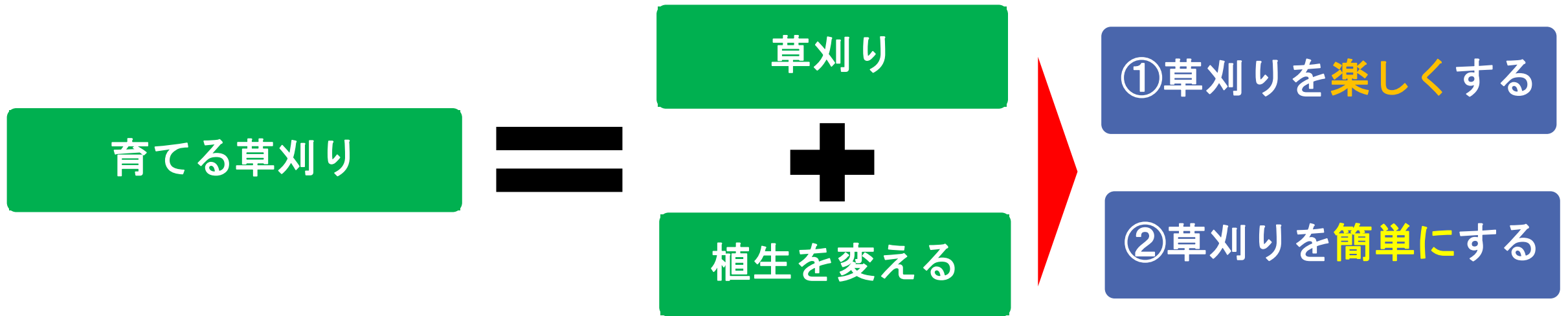
育てる草刈り

の出発点





メリット



新しい育成型の草刈り！！

育てる草刈り

のメリット

①草刈りを楽しくする



育てる草刈り

のメリット

①草刈りを楽しくする



育てる草刈り

のメリット

①草刈りを楽しくする



育てる草刈り

のメリット

①草刈りを楽しくする

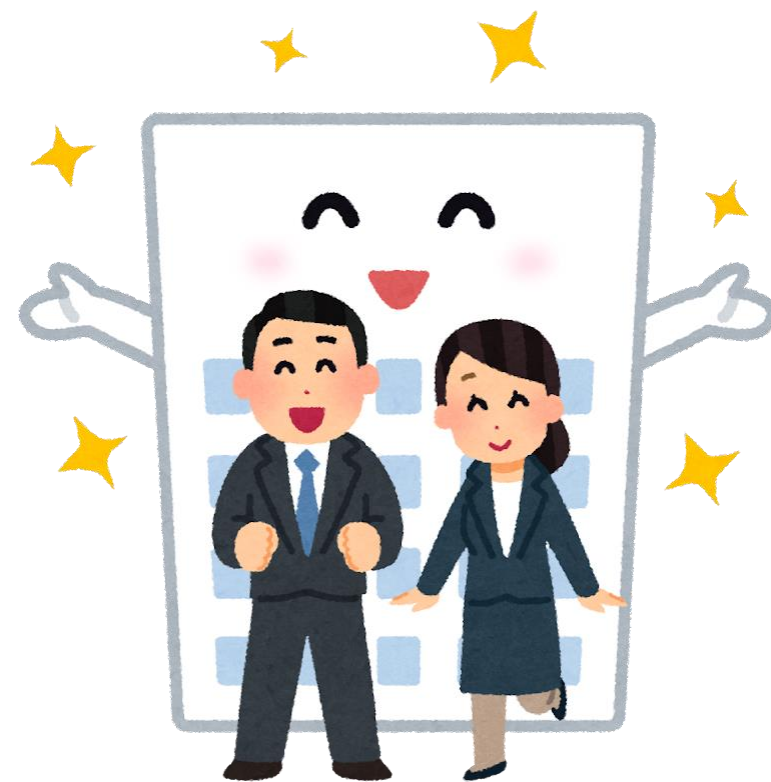
「育てる草刈り」モデルケース



定年退職後の趣味



植物マニアの研究



オシャレなCSR

育てる草刈り

のメリット

②草刈りを簡単にする



育てる草刈り

のメリット

②草刈りを簡単にする



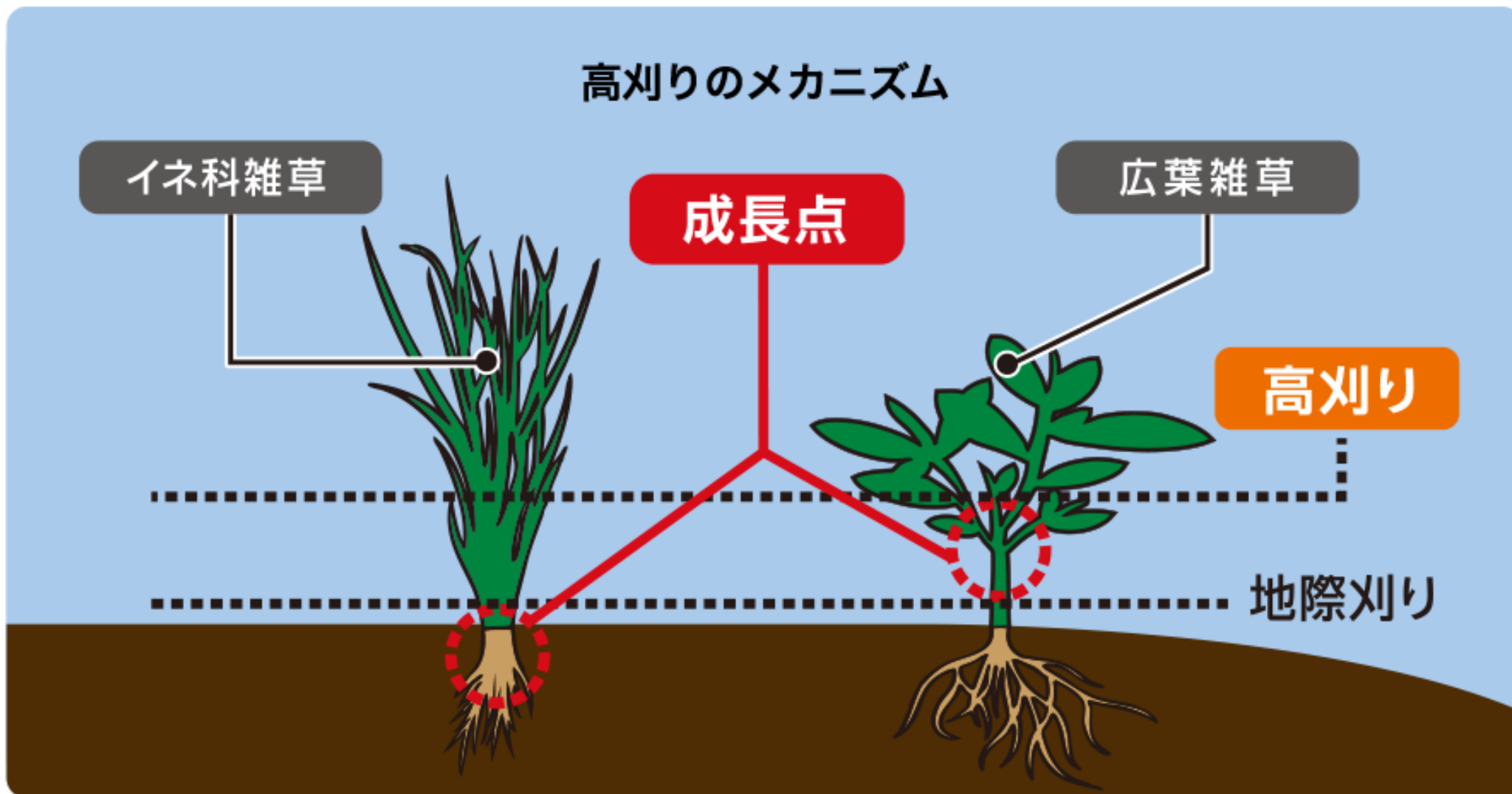
「ジズライザー（高刈り用）」
地面から5センチ以上高い位置で
草を刈れる

- ・植生が変わる(いい意味で)
- ・飛び石防止
- ・草密度が低く楽に刈れる

育てる草刈り

のメリット

②草刈りを簡単にする



育てる草刈り

のメリット

②草刈りを簡単にする



育てる草刈り

のメリット

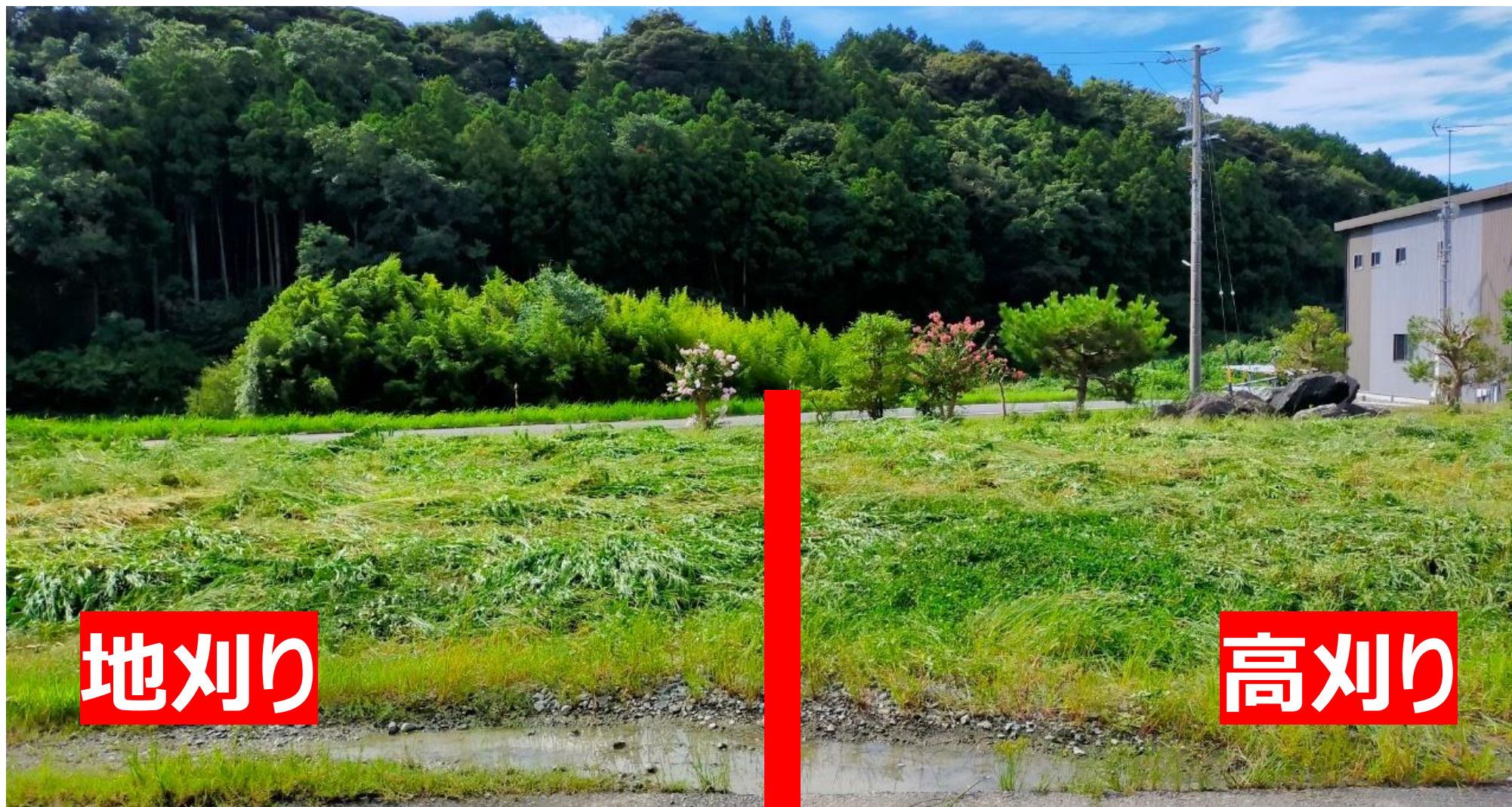
②草刈りを簡単にする



育てる草刈り

のメリット

②草刈りを簡単にする



地刈り

高刈り

育てる草刈り

のメリット

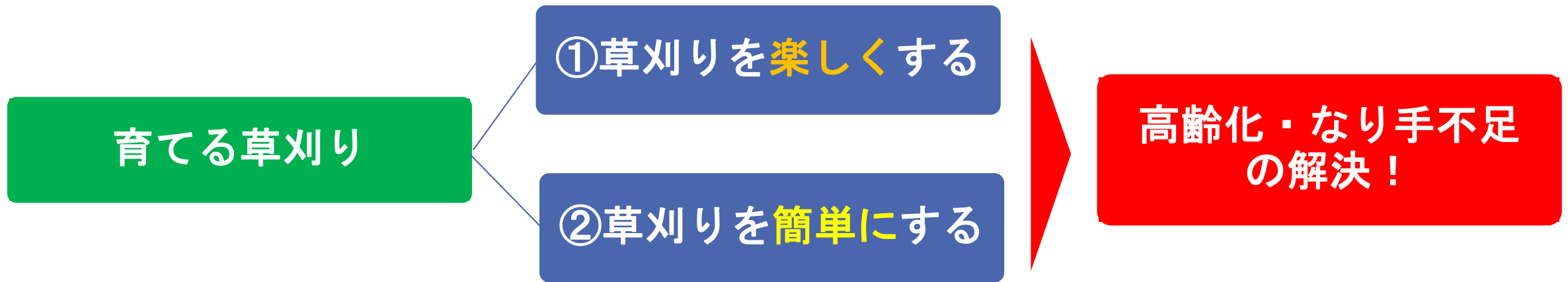
②草刈りを簡単にする



地刈り



高刈り



**植生を改良していく、新しい育成型の草刈り。
「育てる草刈り」は、草刈りの高齢化・担い手不足の
問題を解決する事ができるかもしれない。**

今後の展開

① 実験フェーズ（高い刈りを中心に色々）

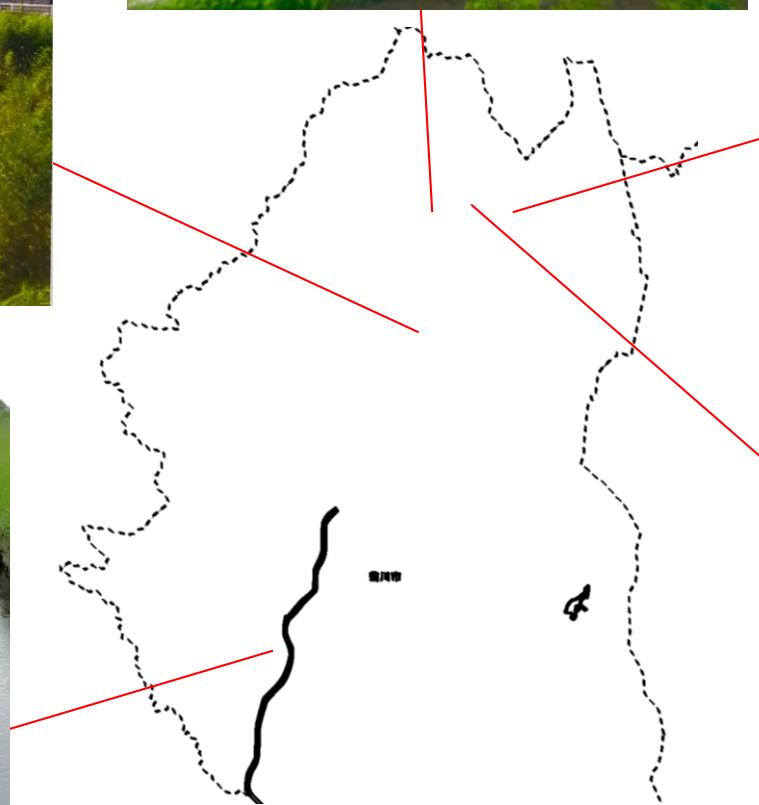


② 行政・市民・企業への情報提供と活動啓発



③ 市民がマイ河川で「育てる草刈り」を楽しむ

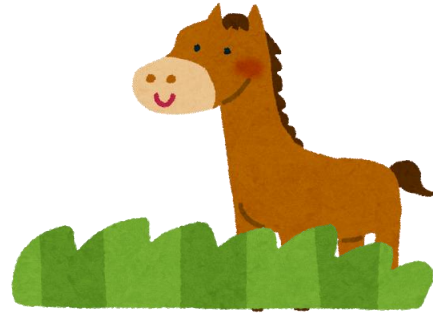
① 実験フェーズ



① 実験フェーズ 高刈りの他にも…



看板の設置



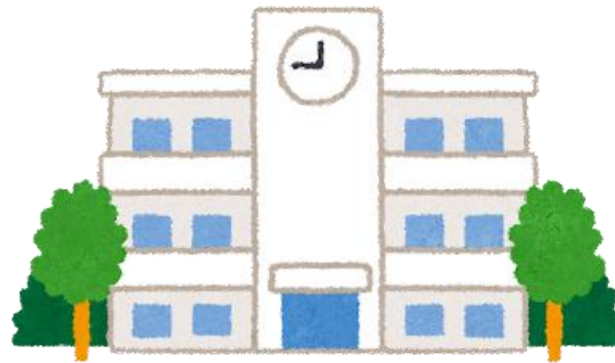
馬の餌を育てる



河川アート



企業CSR



学生の研究



行政との連携

コツコツ楽しく、やっていきます！

御礼

ほめ言葉と笑顔の だがし屋

メンバー：鈴木 由樹
白倉 麻里奈
二俣 祐子
豊島 宏恵

「あなたはこんないいところがある。」
こどもを励ます言葉は、
お母さんも励ましてくれる。
お母さんが明日からまた頑張ろうと
思える場づくり

課題

「孤独なお母さん」

- ・ 周囲の協力が得られない
 - ・ 学校などの既存組織や制度からサポートされにくい
等様々な悩み
-

子育てしにくい世の中

仮説

既存の組織や制度に囚われず、子育てするお母さんが気軽に息抜きできる場をつくることで、また明日からパワーチャージができるのではないか？

目標

菊川のお母さんがひとりでも多く

「明日もまたがんばろう」
と思える場をつくる。

理由・背景

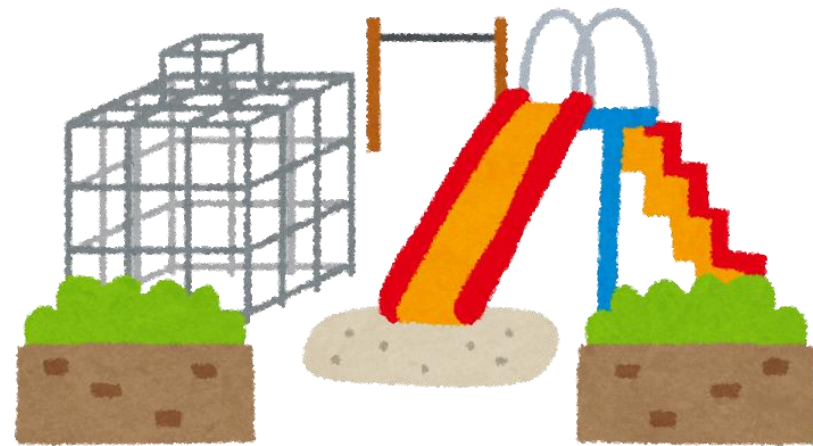
- ・ 悩みは多種多様ですぐに根本解決するのは難しい
- ・ 明日頑張ろうと思えるだけでも心が軽くなる

ハグますほめだがし屋

【ハグます=ハグ+励ます+育む】

内容

- ・公園など色々な場所で駄菓子屋をやる
- ・わが子をその場で抱きしめて褒め写真撮影
(スマホ・チェキ)



なぜ駄菓子屋？

「悩みを話そう」と言うと来づらい

→安くて気軽に買える駄菓子を
目的にすることで来やすくなる

→小さな子を持つ母が、
子を連れて来やすくなる



なぜ褒める？

普段は精一杯で褒めている余裕が無い。つい怒ってしまったり、悪いところに目が行きがち。自分の子を褒めることでお母さんは前向きになれる。



子供が遊べる企画もプラス！

スタッフが子供と遊んでいる間にお母さんはちょっとだけ離れて雑談ができる。

→誰かに預けるのが苦手なお母さんでも子供を近くで見ながらちょっと一息できる。



お悩みアンケートもプラス！

子育ての悩みをアンケートで集める。

→悩みの根本解決のための資料になる。



スケジュール

7月：プレ実施

8月～9月：準備期間

10～11月：みんなのアソビバで駄菓子屋を開
催予定



実践

7/30（土）7/31（日）夕
方にトライアルを実施

すきなだかしを選んだり
親子ハグ写真をとって
楽しもう!

だかし屋さん

7.30(土)
17:00~18:30
宮の西公園

7.31(日)
16:00~17:30
船岡山公園

きくがわみらい塾参加者トライアル

内容

- ・ 駄菓子屋出店
- ・ 来店客にアンケート回答呼びかけ
- ・ 回答してくれた家族にミニジュース缶プレゼント
- ・ 子供の好きな遊びを準備
- ・ 親子のハグ写真撮影



結果



7/30 17:00～18:30
10家族

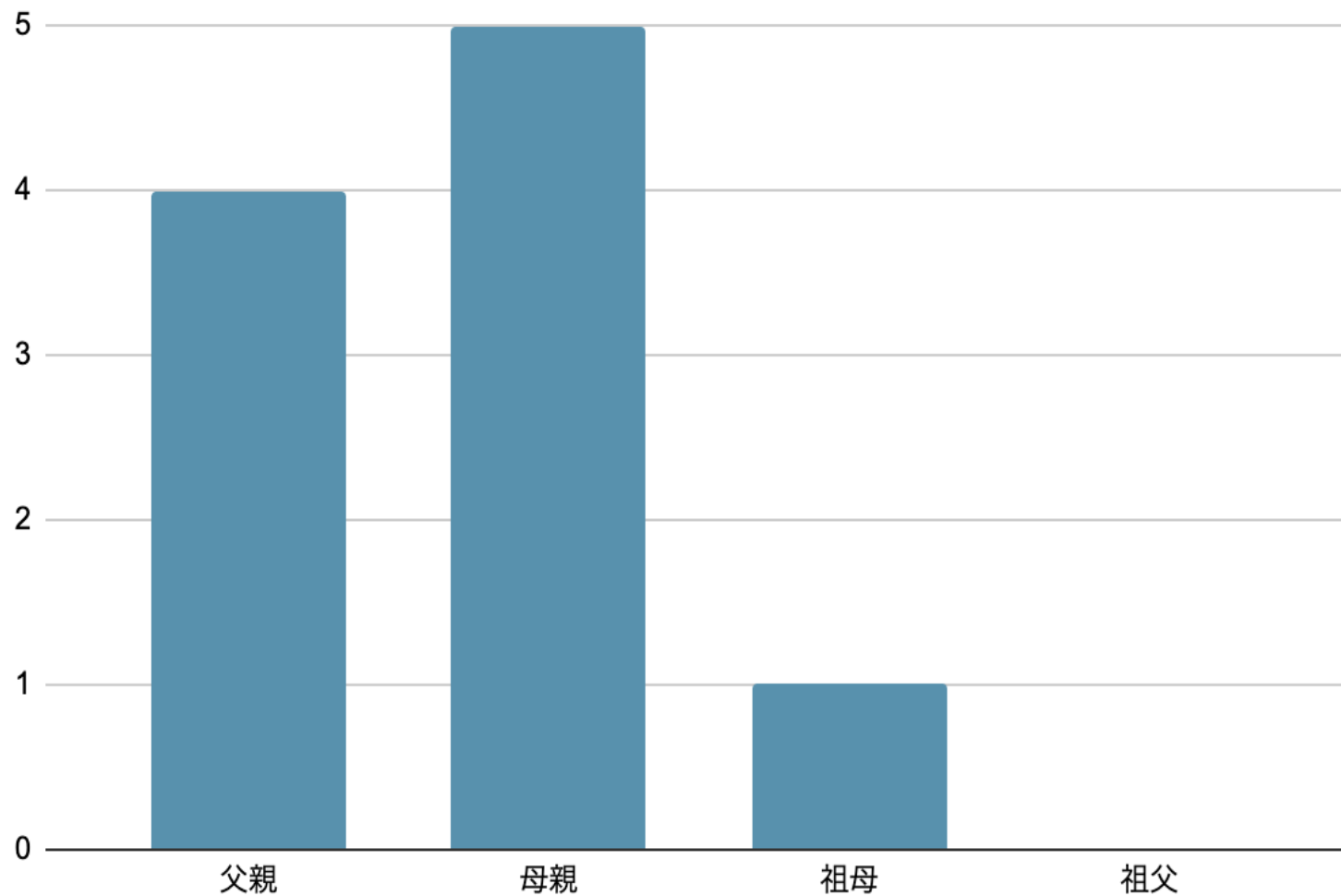
7/31 16:00～17:30
2家族

猛暑・時間帯により公園に来る人が
少なかった

子育てアンケート実施
アンケート回収は10枚

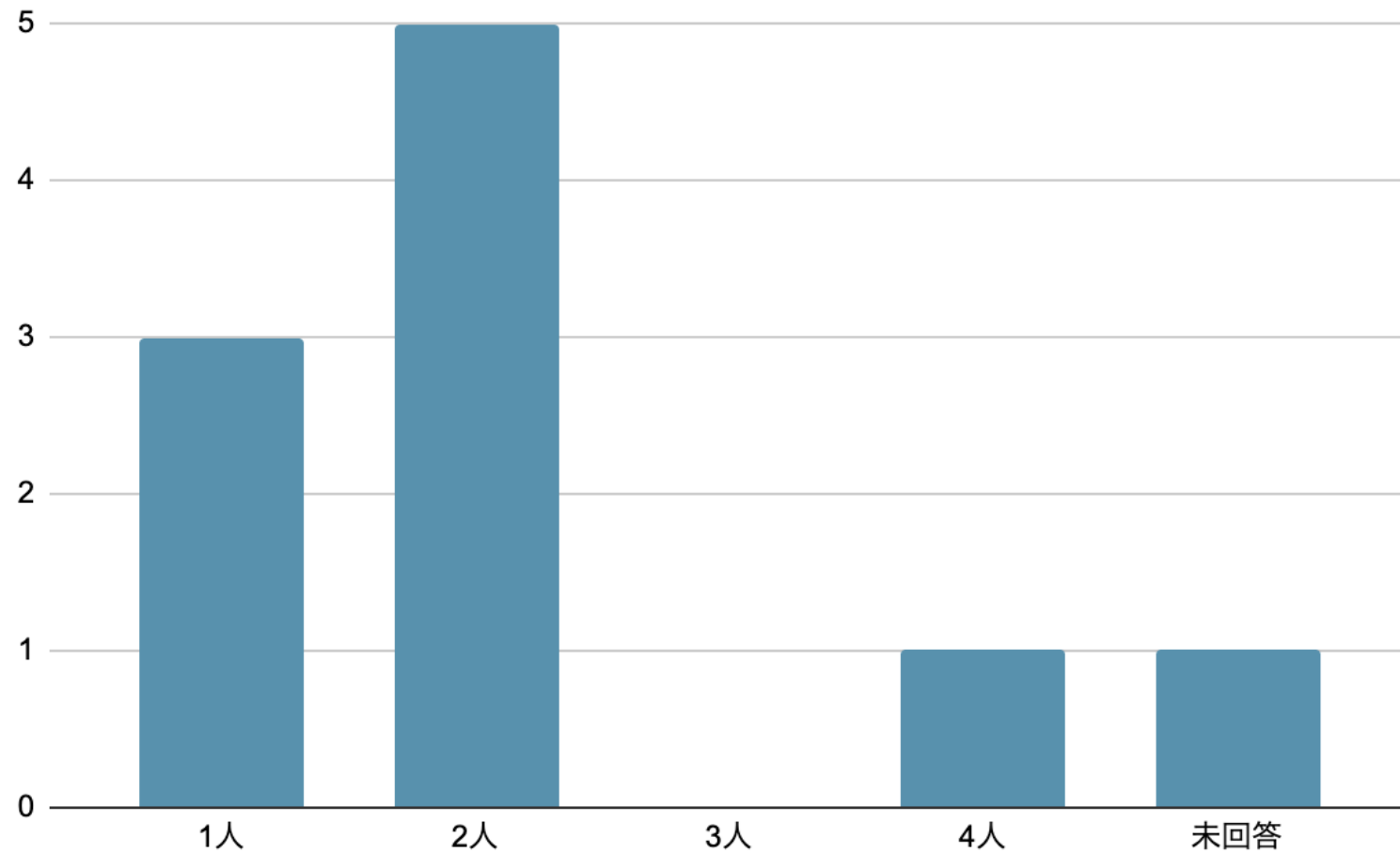
アンケート 内容と結果

回答者について



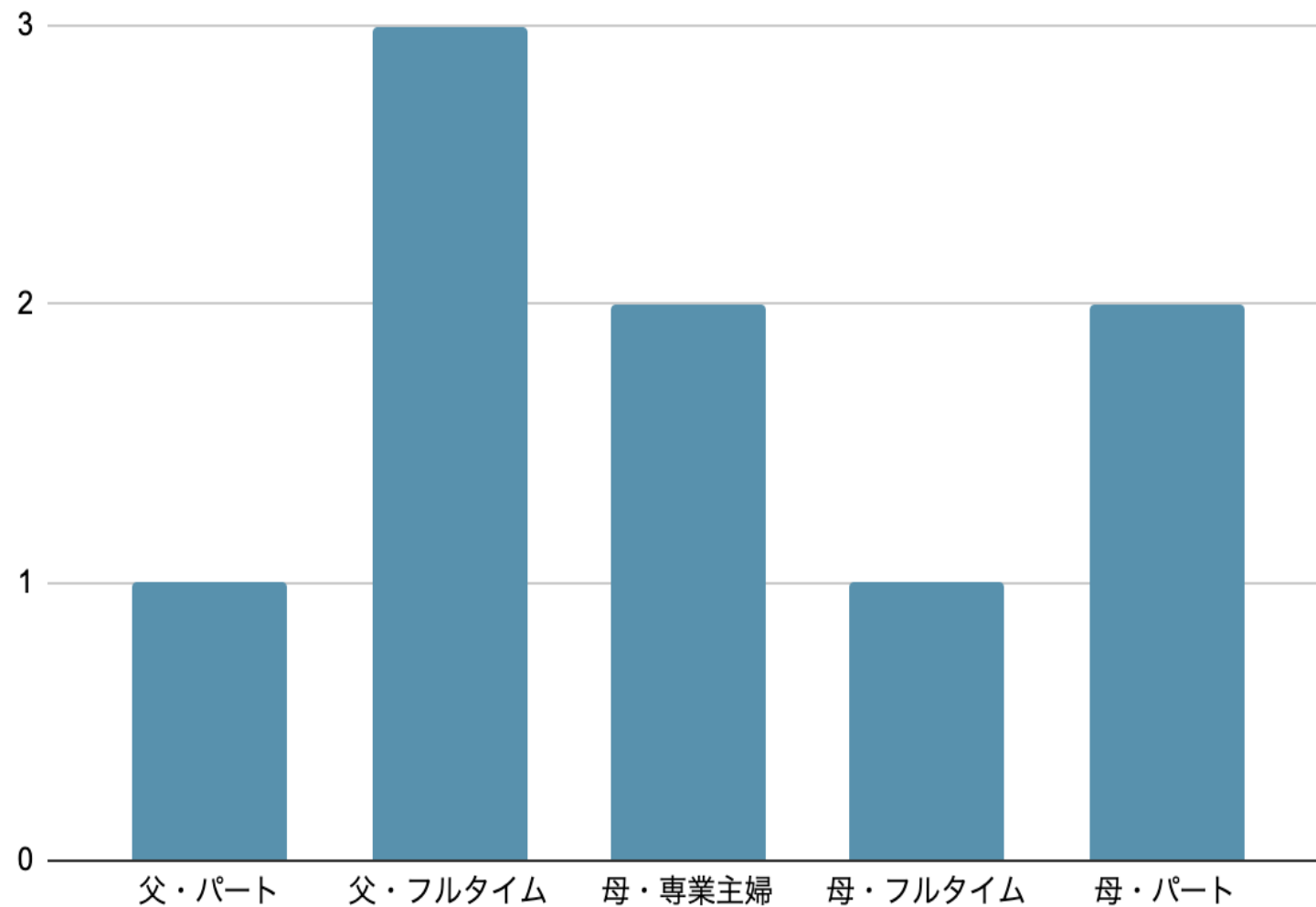
アンケート 内容と結果

回答者の子供の人数について



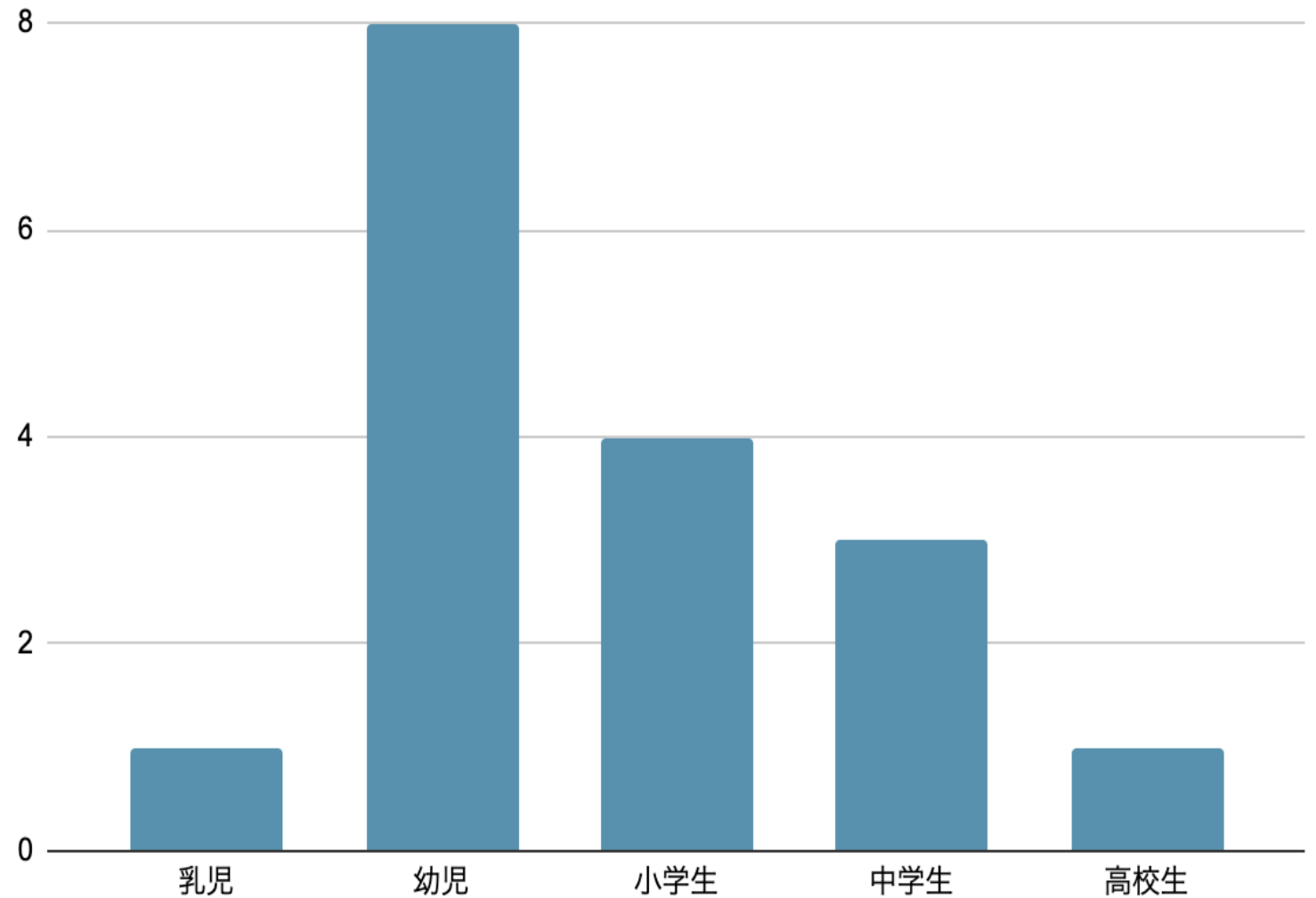
アンケート 内容と結果

回答者の働き方について



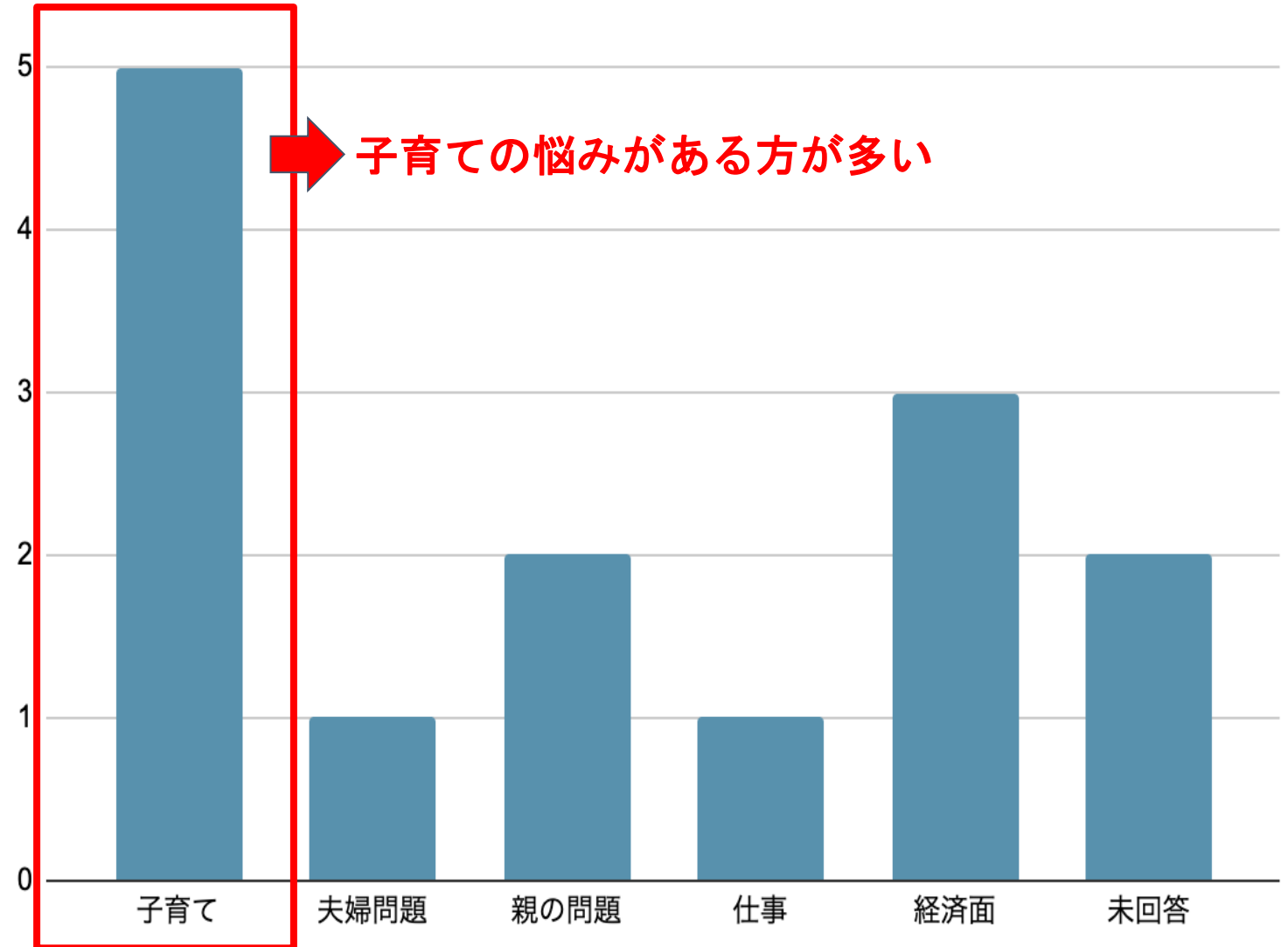
アンケート 内容と結果

回答者の子供の年代について



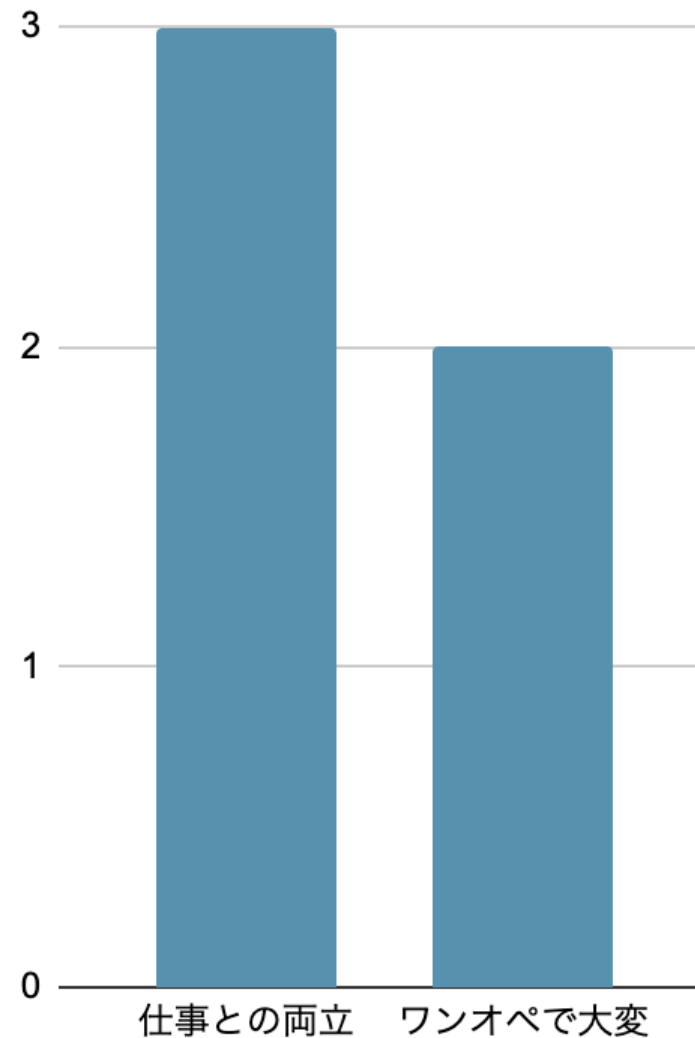
アンケート 内容と結果

回答者がどんなことで悩みがあるか
(複数回答可)



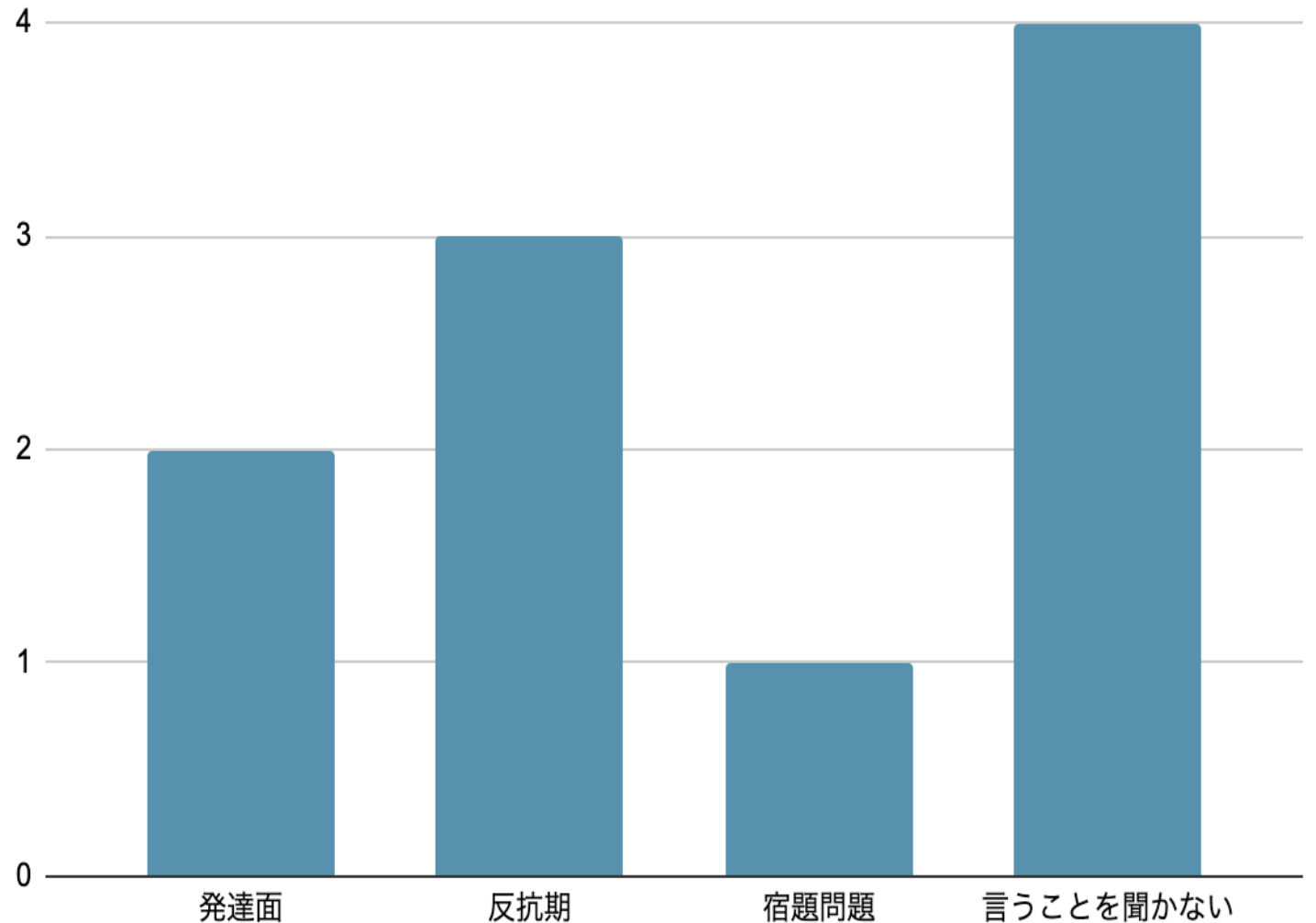
アンケート 内容と結果

子育てに悩みがあると回答した方が、
子育てで大変なことについて
(複数回答可)



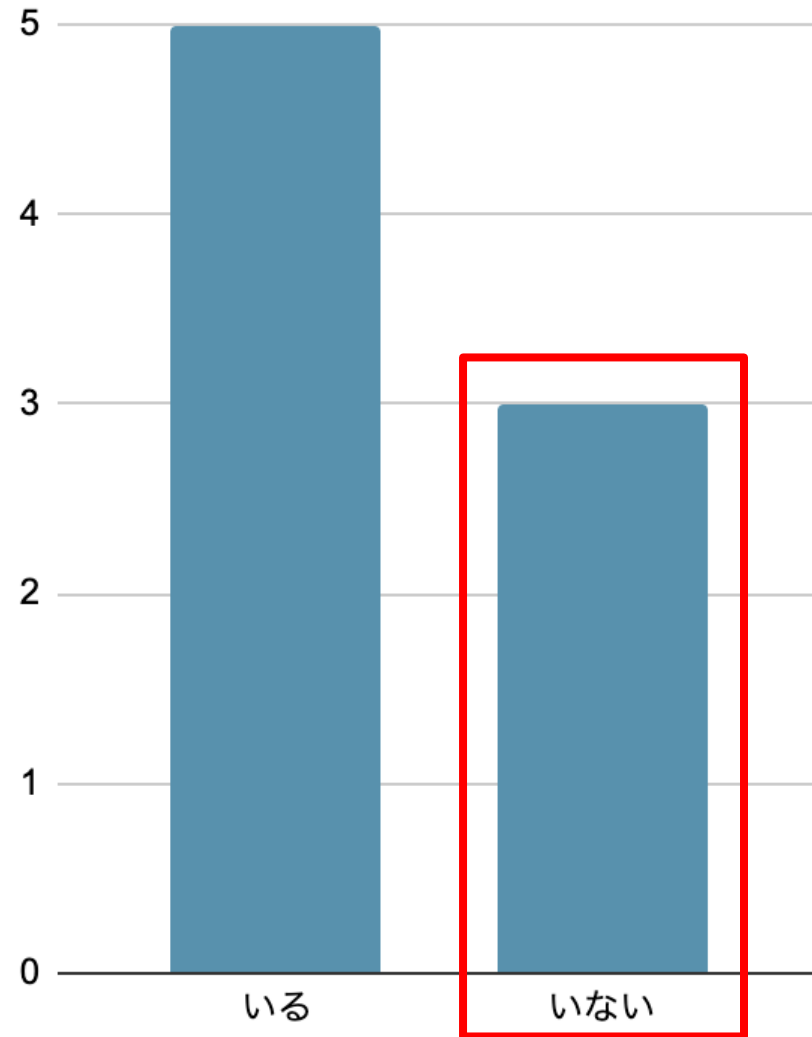
アンケート 内容と結果

子育てに悩みがあると回答した方が、
子育てのどんなところで悩みがあるか
(複数回答可)



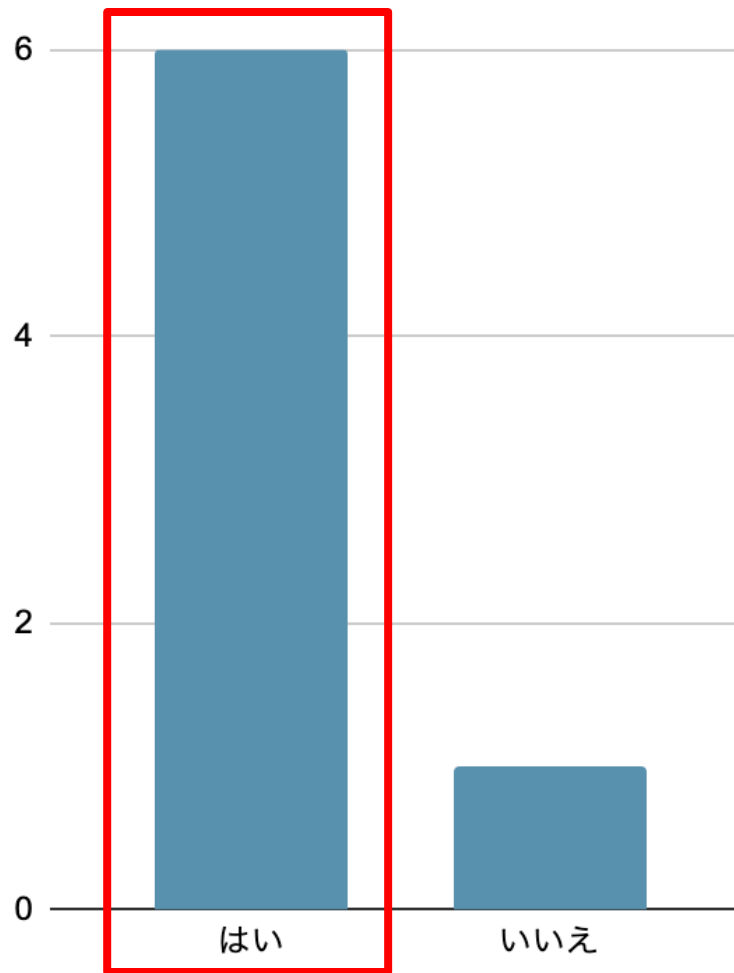
子育てに悩みがあると回答した方が、
子育てをサポートしてくれる人が近くにいるか

アンケート 内容と結果



お母さんのためのパワーチャージの場を作ろうと考えているが、
そのような場があると参加したいと思う？

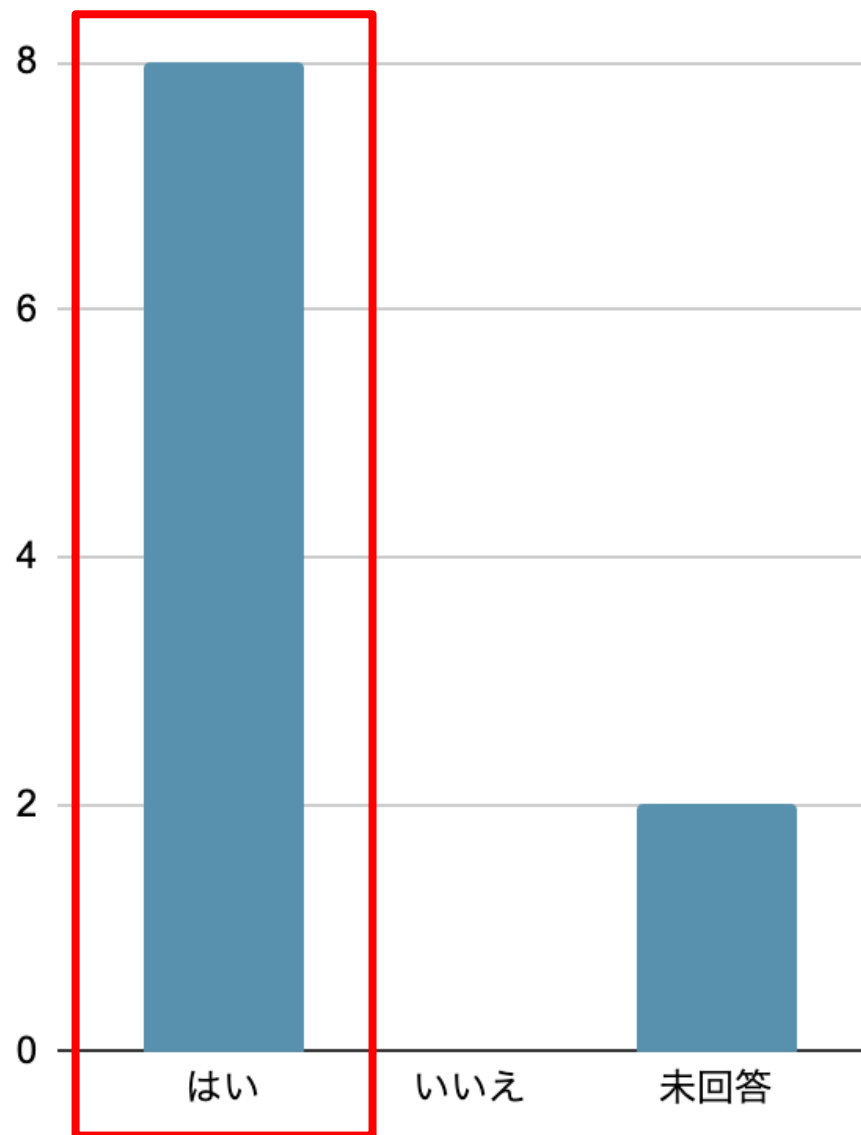
アンケート 内容と結果



いいえの理由：中学生の子供が忙しい為

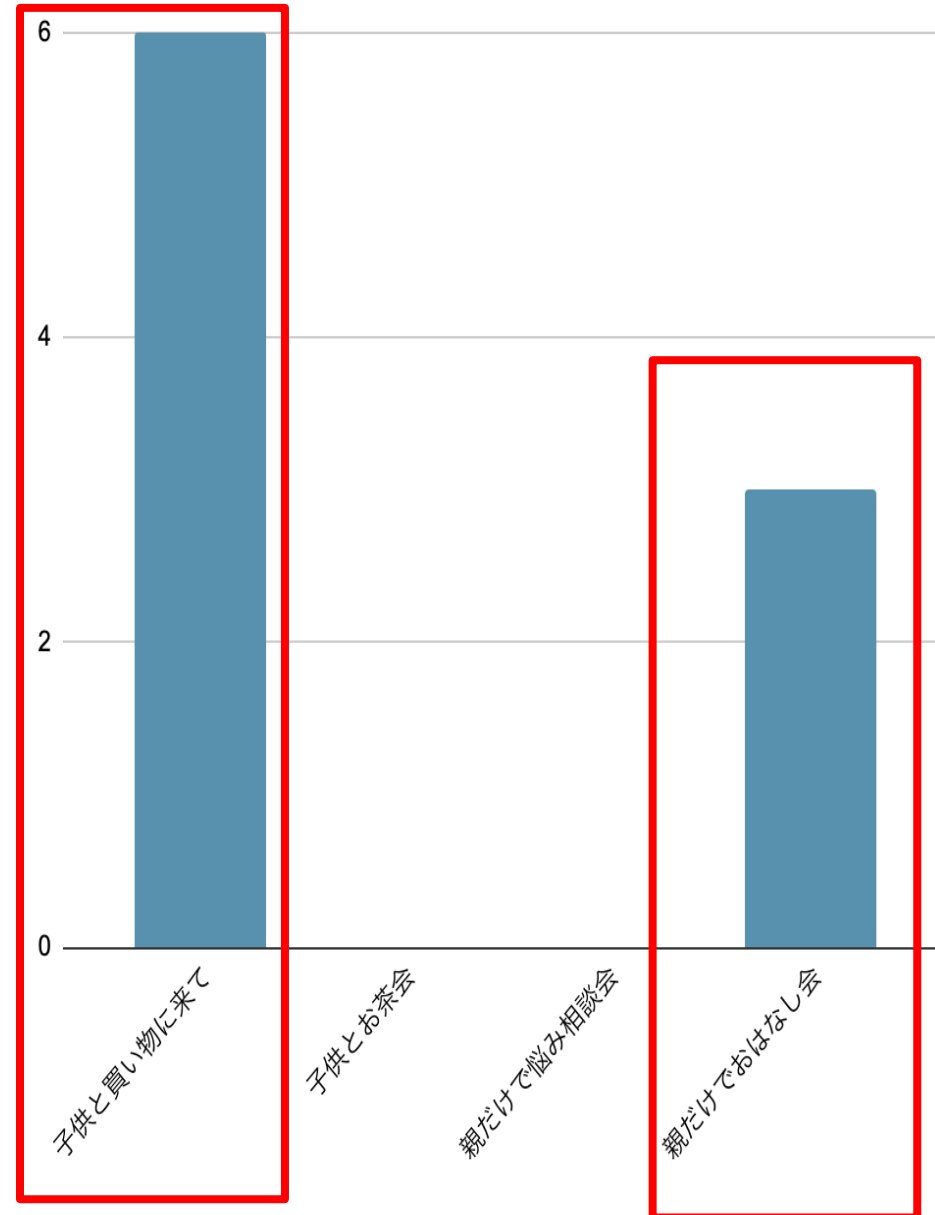
お母さんのためのパワーチャージの場を人に勧めたいと思うか

アンケート 内容と結果



どのような場があると参加したいと思う？

アンケート 内容と結果



まとめ

- 1日目は呼びかけで公園にいる家族がほとんどきてくれた
- 2日目は公園自体に人が少なく、呼びかけもうまくいかなかった
- 駄菓子を買いに来てくれるが、ハグ写真は恥ずかしいからと断る方が多かった
- アンケートを選択制にして記入事項を減らしたことで、
- 答えてくれる方が多かった
(ミニ缶ジュースプレゼントで回答率アップしたか)



まとめ

- 本番は親子がたくさん来てくれると思うので、駄菓子に加え、アクセサリー作りなどのワークショップを盛り込む
- 本番ではSNS等で広く呼びかけ、親子ハグ写真も撮ってもらえるように準備する
- セカンドステップに向けて子育てアンケート継続実施中
・（市内児童館、図書館にて配布中）





お母さんが
「明日もがんばろう」
と思えるように。



Well-being HITSURUGI

— 火剣探検隊チーム —

大山智世・落合田枝子・財津由紀

本多伊吹・山崎雄太

次第

1. 課題

2. 仮説

3. 仮説に基づく実行

4. 目標

5. コンセプト

6. 背景

7. 実施策

8. 予算

9. スケジュール

10. 今後の展望

1. 課題



自然豊かな地域資源である

「火剣山」エリアの魅力が伝えきれていない

Q. 市内外に市の魅力が発信されているまちだと思いますか？

A. 「そう思わない（不満）」 「どちらかといえばそう思わない」

55.2%





展望台

火剣坊大権現

火劔山

標高 242.00

小笠原中山峠





2. 仮説

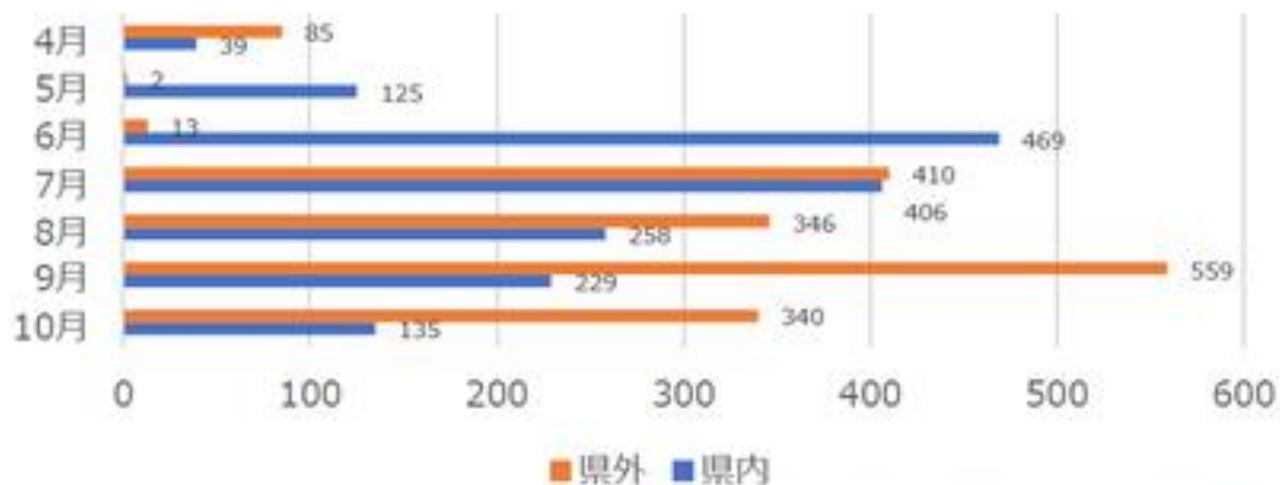
火剣山の麓に、
茶畑を見渡せる「ティーテラス」をつくる

菊川市民が地域の魅力に気づき、
自身を持って友達を連れていける！

市外から火剣山に人が訪れる！

■「茶の間」申し込み状況（2020年4月1日～10月20日）

今年度の予約状況



**コロナ禍でも県外からの需要も好調
茶畑が新たな観光スポットとして定着**

3. 仮説に基づく実践



7月27日（火）

「おそとで茶プロジェクト」

- 茶畑を一望できる場所をお借りし、簡易テラス（縁台）を設置
- 茶畑散歩
- テラスで富田のお茶を飲む
- 顔ハメパネルで記念撮影

地域住民の声・・・



茶畑にテラスや顔ハメパネルがあるだけではわざわざ行かないかな～

テラスがあっても自分たちで飲み物や食べ物を用意してまで行こうとは思わない・・・



4. 目標

既存の地域資源である
火剣山ハイキングコースを活用！

「火剣山に行くと心身ともに健康になれる」
そんな場所として認知してもらう！

市外から火剣山に人が訪れる！

An aerial photograph of a vast, lush green forested mountain range. The foreground is dominated by dense, vibrant green trees. In the middle ground, a valley opens up, showing a small cluster of houses and a dirt road. Further back, a bridge spans across a valley, and a power line tower is visible. The background features rolling hills and distant mountains under a clear sky. The text 'Well-being HITSURUGI' is overlaid in the center of the image.

Well-being
HITSURUGI

5. コンセプト

Well-being HITSURUGI

well-beingとは・・・

病気でないとか、弱っていないということではなく、
肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、
すべてが満たされた状態（well-being）にあること。

6. 背景

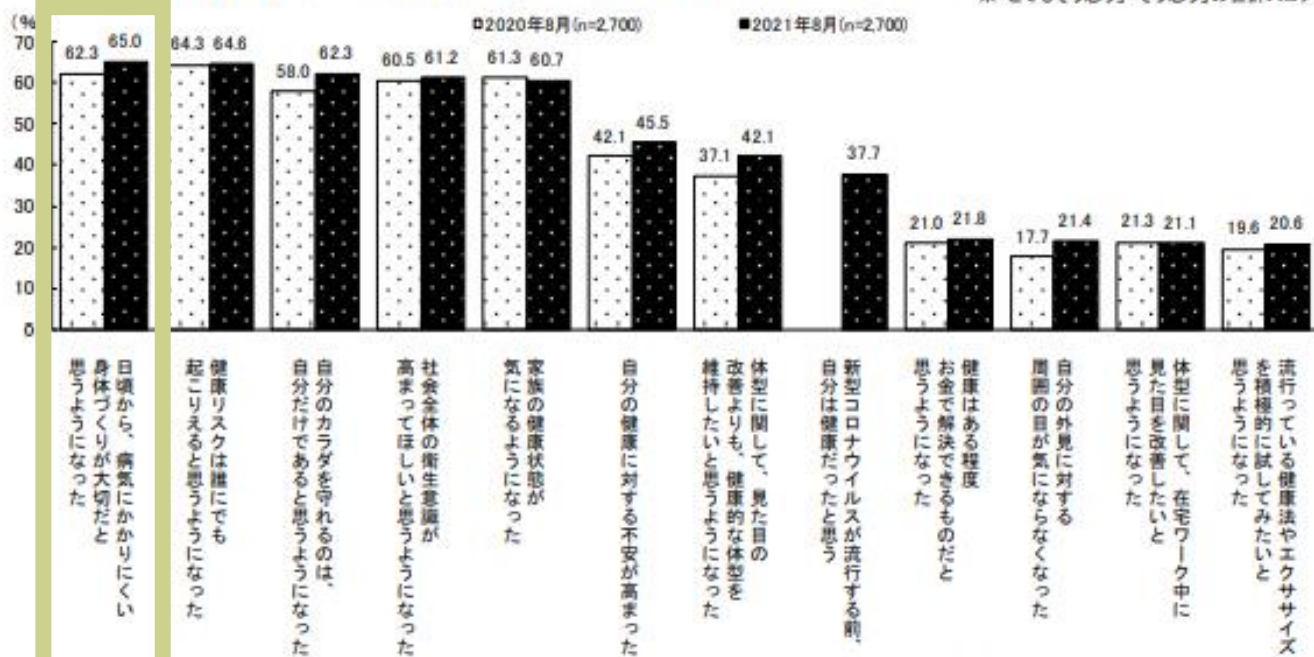


- 新型コロナウイルスの流行による
若年層の健康意識や運動に対する関心の高まり
- 消費行動の「コト・トキ・イミ」化

【図7】 コロナ禍における健康意識の変化

Q. 「新型コロナウイルス」の流行によって、健康に関する意識に変化はありましたか。

※「とてもそう思う」「そう思う」の合計スコア

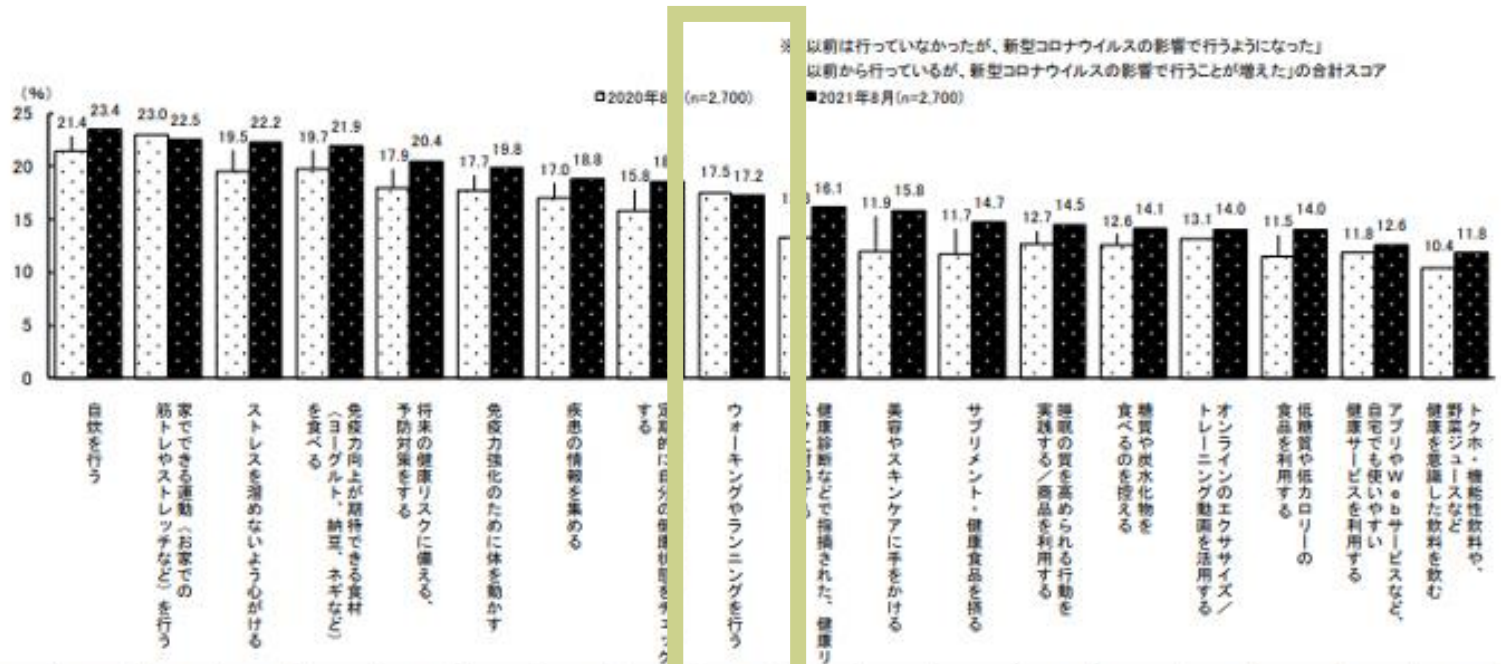


2021年全体	(2700)	65.0	64.8	62.3	61.2	60.7	45.5	42.1	37.7	21.8	21.4	21.1	20.6
男性20代	(180)	52.7	56.0	55.6	54.5	45.7	42.9	43.3	35.6	36.0	25.1	34.0	27.9
男性30代	(220)	59.5	59.3	53.5	53.1	58.5	47.3	39.0	38.4	28.2	23.4	26.7	26.6
男性40代	(260)	53.0	52.4	48.6	45.7	46.2	36.1	39.7	30.9	19.4	22.4	21.4	16.9
男性50代	(220)	52.2	55.8	46.5	44.3	43.8	37.6	25.1	27.3	20.6	16.7	17.5	6.9
男性60代	(250)	50.4	57.2	45.8	51.5	57.4	42.8	28.7	31.9	17.3	12.8	11.7	12.3
男性70代	(180)	60.2	59.7	65.3	68.3	66.1	35.7	36.6	45.2	10.0	13.3	10.2	9.5
女性20代	(170)	80.7	76.8	76.1	77.6	67.5	67.1	54.7	55.0	28.5	30.9	45.5	40.5
女性30代	(220)	76.3	77.4	76.5	68.2	76.2	56.4	46.5	36.0	21.7	25.7	27.6	34.5
女性40代	(260)	68.0	68.5	68.0	62.1	65.2	49.9	50.4	39.7	25.1	22.1	22.1	23.4
女性50代	(220)	72.3	74.9	70.6	67.5	60.4	47.1	49.8	30.7	22.8	18.4	23.8	24.5
女性60代	(260)	84.7	70.9	74.8	81.8	72.4	47.2	48.6	40.4	19.6	24.1	11.8	14.7
女性70代	(220)	70.2	68.2	70.1	63.8	66.5	39.7	44.2	47.0	15.7	22.9	9.9	16.1
コロナ後に健康的になった計	(136)	70.7	68.1	66.4	66.2	65.1	44.9	44.2	45.4	25.0	23.0	23.4	22.8
コロナ後に不健康になった計	(133)	59.2	61.0	58.1	56.2	56.1	46.2	40.0	29.9	18.6	19.7	18.8	18.5

※全体と比較して 5pt以上 10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

【図8】コロナ禍で実践している健康行動

Q. あなたは現在、以下のことを行っていますか。



2021年全体	(2700)	23.4	22.5	22.2	21.9	20.4	19.8	18.8	17.2	16.1	15.8	14.7	14.5	14.1	14.0	12.6	11.8	
男性20代	(180)	30.5	29.4	33.2	29.8	31.7	31.7	28.8	28.5	25.1	29.5	23.3	28.5	23.5	21.7	24.4	21.6	19.2
男性30代	(227)	30.9	27.2	26.3	30.8	25.0	28.6	24.8	25.2	22.9	21.0	22.8	25.3	22.9	20.3	22.3	19.7	19.3
男性40代	(266)	17.2	22.7	25.0	22.9	26.7	17.4	14.8	19.7	14.5	13.9	15.2	18.9	18.2	12.7	12.0	13.4	12.7
男性50代	(221)	11.2	11.5	16.5	10.4	10.4	10.6	14.6	8.2	9.3	5.4	10.0	7.1	8.0	7.4	7.9	7.3	8.0
男性60代	(254)	19.5	11.5	10.7	19.0	11.5	10.7	13.2	14.0	14.0	6.0	8.0	7.0	9.1	6.3	10.8	7.1	7.8
男性70代	(182)	7.1	7.6	8.7	10.6	9.5	6.4	8.8	7.7	9.7	3.4	4.4	5.0	7.3	3.3	6.3	4.6	3.9
女性20代	(175)	50.3	49.8	45.5	45.0	37.4	43.5	27.2	35.1	28.1	44.7	29.4	31.0	23.8	28.8	32.3	19.6	24.3
女性30代	(221)	37.4	35.1	29.5	23.4	21.7	28.0	24.6	22.3	22.3	29.3	17.0	13.9	18.3	21.7	18.3	18.5	13.0
女性40代	(263)	27.9	27.0	24.4	23.7	21.1	23.1	25.5	17.0	19.8	20.1	17.4	11.8	14.2	20.7	17.0	19.9	13.8
女性50代	(223)	21.4	20.0	23.3	14.8	18.9	13.2	19.1	9.2	10.0	11.9	11.9	12.2	9.2	12.0	9.1	5.4	8.1
女性60代	(268)	15.7	15.0	14.3	17.6	15.8	10.9	15.7	6.2	9.6	6.7	9.1	7.0	6.2	11.2	8.0	10.8	6.6
女性70代	(220)	17.9	19.0	15.8	19.5	19.6	20.9	12.6	19.2	12.2	6.8	12.2	12.8	12.3	5.5	8.3	4.1	8.9
コロナ後に健康的になった計	(1361)	25.6	25.0	25.3	24.7	24.6	24.8	20.3	22.1	18.8	18.9	16.2	16.8	16.8	16.2	16.7	13.9	12.1
コロナ後に不健康になった計	(1339)	21.1	19.9	19.1	19.1	16.1	14.7	17.2	12.2	13.3	12.7	13.2	12.1	11.3	11.8	11.4	11.2	11.5

※全体と比較して 5pt以上 10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

Have

Do

Be

モノ消費

商品を所有すること、サービスを利用することによって得られる経験や体験を重視する消費行動。

コト消費

商品を所有すること、サービスを利用することによって得られる経験や体験を重視する消費行動。

トキ消費

非再現性・参加性・貢献性を重視し、「その日」「その場所」「その時間」でしか体験できない消費行動。

イミ消費

商品を消費することにより生まれる社会貢献的側面を重視する消費行動。

7. 実施策

step1

地域愛をはぐくむ！

火剣山ハイキングマップづくり

地域住民と一緒に火剣山エリアの魅力を話し合い、おすすめの場所や隠れた地域の方から聞く。

そして実際にハイキングコースを歩き、マップをつくるワークショップを開催。

地域住民が地域の魅力を発見・再認識

外に向けて火剣山エリアの魅力を可視化

参考事例) 八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」

持続可能な地域を描くわくわくマップ作りプロジェクト



「自分たちにとって魅力的で持続してほしい地域資源」を地域住民が話し合い地図に落とし込む。参加型で一人ひとりの思いや価値観を共有しながら、「自分にとっての地域」を言語化。

地域資源『見える化』ウォーク



何を地域資源として「見える化」するのか話し合いを重ね、実際にまち歩きを通してマップに掲載する情報を選定し、地図を発行。

8月31日（水）・9月5日（月）「火剣山ハイキングマップ作り」



富田にある火剣山ゆかりのお寺「善福寺」の住職さんや地域の方々にご協力いただき、火剣山にまつわる歴史や思い出、見どころなどを伺いました。

地域の方から教えてもらった情報をマップに落とし込んで、火剣山を学び・楽しめるハイキングマップを作成します！

7. 実施策

step2

イベントで火剣山の魅力をPR！

みんなで火剣山ハイキング

マップを手に火剣山ハイキングに出かけるイベントを開催。火剣山にハイキングに訪れるきっかけをつくります。ハイキング後には簡易テラスで地域のお茶を飲み、心も身体もリフレッシュ！

火剣山の魅力を「コト・トキ」化

”健康拠点”として火剣山の魅力を発信

8. 予算

- 顔ハメパネル作成・・・・・・・・・・・・ 4, 736
- マップ製作費・・・・・・・・・・・・ 59, 400
- マップ印刷費（A3三折・2,000部）・・ 20, 000
- 火剣山ハイキングチラシ印刷費・・・・ 5, 000

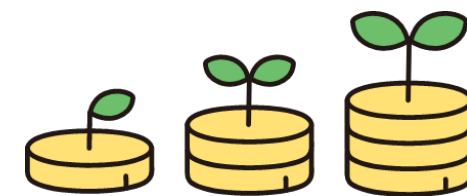
89, 136円

※総務省地域おこし協力隊活動経費より算出

9. スケジュール



10. 今後の展望 (ご相談)



歩くといいことがある！

健康マイレージ化

step3

日々の運動や食事などの目標を達成できた場合や、検診の受診、健康に関する講座やイベントなどに参加することでポイントを集め、一定のポイントを貯めた人が、特典を受けられる菊川市の「健康マイレージ」。

火剣山ハイキングもぜひポイントの対象に！

(歩いた距離をアプリで管理できるといい！)

楽しむだけじゃなく歩くことを「イミ」化

参考事例) 菊川市健康マイレージ

令和4年度 菊川市

～みんなで作ろう健康・元気に暮らせるまち きくがわ～

健康マイレージ

対象者 菊川市に在住・在勤・在学の18歳以上の方

このシートを手にしたら...

ポイントを
ためて
健康とお得を
ゲット!



1 ポイント記入表に **ポイント記入表は0ページ** **30ポイントを貯めよう!**

自分の目標を選んで、30日間取り組もう! + 体重または歩数を記入しよう!

ためる期間 令和4年4月16日～令和5年1月20日

市での事業等に参加、検診結果提示、新型コロナウイルスワクチン3回目の接種済証提示で、ボーナスポイントが貯まります。

2 ポイントがたまったら! **ポイント交換**

ポイント交換期間 令和4年7月1日～令和5年2月3日

健康づくり課(プラザけやき内)に提出

達成者全員プレゼント!

歯ブラシ
ふじゆくに
健康いせいのカード

さらに その場で当たる 抽選!

高級ハンバーグ
野菜詰合せ

さらに

初めて達成された方に健康づくり食生活推進協議会作成の**レシピ集プレゼント!**

Wチャンス!!

抽選にはずれた方の中から更に抽選で菊川ブランドの商品が当たる!!

団体で参加しよう!

10人以上で参加してくれた団体には、菊川茶ペットボトル1ケース(24本入り)をプレゼント

先着10団体限定!

さあ、始めましょう!



菊川市健康づくり課 ☎0537-37-1112

〒439-0019 菊川市半済1865 プラザけやき内

自己申告ポイント 30ポイントをためよう! 1日1ポイント

下記の「自己申告ポイントの記入方法」を参考にして、4ページのポイント記入表に記入しましょう。

食事

- ① 主食・主菜・副菜がそろった食事をとる
- ② 茶葉から淹れた緑茶を1日1杯以上飲む
- ③ 毎食野菜を1皿以上食べる



運動

- ④ 意識的に1,000歩多く歩く
- ⑤ 30分以上体力に合った運動、スポーツを楽しむ(自分が運動と思えばOK)
- ⑥ 自転車や徒歩で移動(通勤)する



休養

- ⑦ 自分に合ったストレス解消法を実施する
- ⑧ 地域活動やボランティアに参加する



タバコ

- ⑨ たばこの本数をいつもより減らす
- ⑩ 休肝日をつくる



歯の健康

- ⑪ 歯間ブラシやデンタルフロス(糸ようじ)などの歯ブラシ以外の歯磨き用具を使う



健康管理

- ⑫ 血圧を測る
- ⑬ 外出後、手洗いうがいをする



自己申告ポイントの記入方法

(1) 上記の項目(①～⑬)から1つ選んで、健康づくりの目標を決めて、記入しましょう。

記入例: ③ 毎食野菜を1皿以上食べる

(2) 1日の中で「自分で決めた健康づくりの目標」と「体重または歩数の測定」の両方を実践できたら、4ページの記入表に日付とともに記入しましょう! 目標を達成したら「レ点(✓)」をつけましょう。「体重・歩数」のどちらかに○をつけ、同じものを30日間記入しましょう!

日付	7/1	7/4	7/5	7/8	7/9	/	/	/	7/10
目標	✓	✓	✓	✓	✓				○
体重・歩数	55.0	55.0	55.5	56.0	55.0				

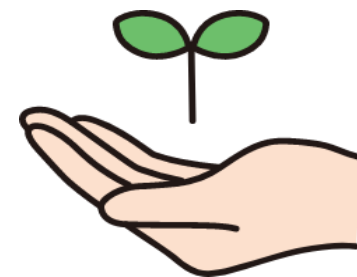
(例) 7月1日
記入: 自分で決めた目標を達成した。体重は55.0kgだった。

ボーナスポイント事業に参加すると、担当者が日付と番号を入れ、スタンプを押します。

記入は1日おきでも大丈夫です。表がすべて埋まったらポイント達成です!

1

10. 今後の展望 (ご相談)



step4

持続可能なハイキングコースへ！

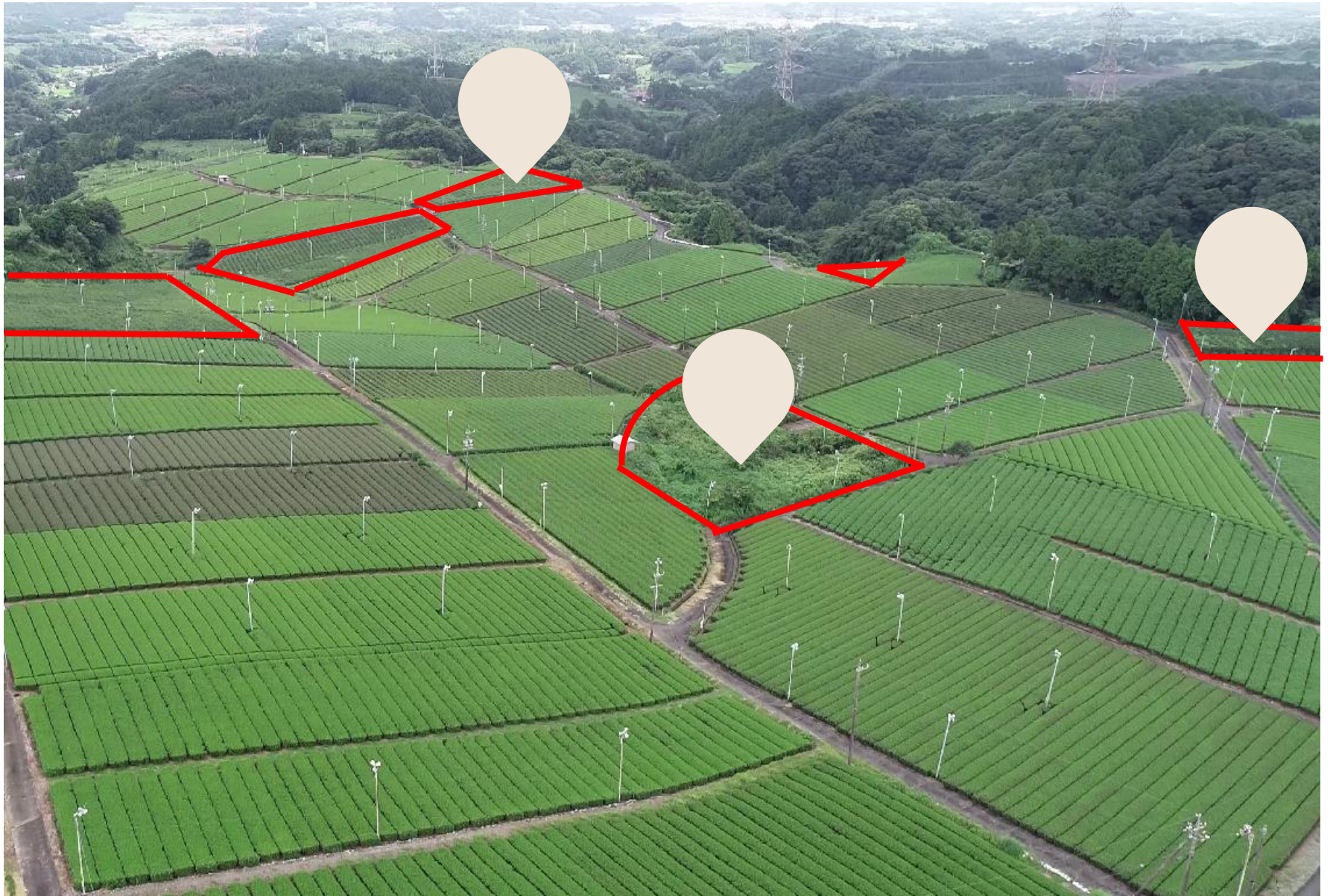
耕作放棄地を活用して魅力向上

実は火剣山周辺の茶畑も、お茶の価格低迷や高齢化により耕作放棄が増えています。そんな耕作放棄茶畑を活用して、花畑に生まれかわらせたり、ハイキングした方も一息つけるテラスを設けたり、心も身体も、そして火剣山も健康になれる状態（Well-being）を目指したい！

火剣山で過ごす「コト・トキ」を充実化

収益化により美しい火剣山の景色を守る





幸せの黄色い
ハンカチ



花畑



参考事例) 山梨県甲府市 農産官学で「耕作放棄地をお花畑に」

耕作放棄地再生お花畑化プロジェクト



玉川大学農学部、山梨県甲府市の養蜂家、雪印種苗株式会社、シンジェンタジャパン株式会社で、『耕作放棄地のお花畑化プロジェクト推進協議会』を設立し、耕作放棄地を利用してお花畑を創出し、養蜂資源、農薬被害の回避場所などとして利用。



採取したはちみつを「たまがわはちみつ お花畑の百花蜜」として、玉川学園購買部キャンパスストアにて販売。

テラス



参考補助金）公益社団法人 静岡県観光協会

高付加価値化商品造成事業補助金

静岡ならではの資源（食、歴史文化、ヘルスケア）を基軸に、環境や地域に配慮した付加価値の高い旅行商品の造成及び販売促進を支援。

【補助内容】

- ・パンフレット・まちあるきマップ等の作成
- ・モニターツアー
- ・WEBによる情報発信

【補助対象額】

補助対象額 総事業費50万円以上の事業（上限400万円・補助率1/2）

A circular view through a white frame with red and brown accents, showing a tea plantation under a cloudy sky. The text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid in the center.

ご清聴ありがとうございました

A colorful illustration of a globe with green continents and blue oceans. A diverse group of people from various cultures and ages are standing around the globe, holding hands in a circle. The people are wearing different traditional and modern clothing, representing global unity. The globe is the central focus, with the text overlaid on it.

人と人が繋がる場所作り

長谷川千恵美
栗田裕子
杉山明子
金原健人

A stylized illustration featuring two hands, drawn with thick black outlines, cupping a large, solid red heart. The hands are positioned as if they are gently holding or supporting the heart. The background is plain white.

スマホやSNSで、

**人々が簡単に繋がる時代になったからこそ
リアルな出会いと会話の場を提供したい！**

ちょっと元気が出ない時
心配事がある時
未来を不安に思う時...

そこに行くと、心も身体もHAPPYになる
そんな場所を菊川に作りたい！

サロンとカフェが一緒になった場所を作り、
世代を超えた色々な繋がりを広げたい！

長谷川 フェムケアサロン

(女性特有の体の健康
性に関することのケアをする)

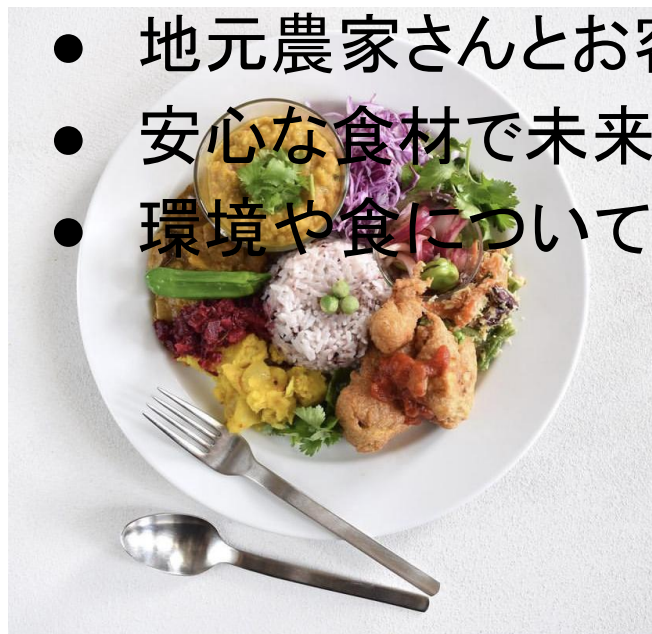


- 自身の長年の不妊治療経験により
女性の不調のケア
- 同じ心の痛みを持つ人達で繋がる
コミュニティ
- 心の開放ができる場



栗田 地元農家さんの野菜cafe

- 食べ物から元気に美しく
- 地元農家さんとお客様とが繋がる場
- 安心な食材で未来を繋ぐ
- 環境や食について発信できる場所



仮説

- 自分を大切にできる時間を持ちたい方
- ちょっと身体に良いことをしたい方
- 不安を口にする場(相談できる場)がほしい方
- 情報の共有で生活の安心材料を増やしたい方
- ワークショップで世代を超えた繋がりをもちたい方

同じ気持ちの人たちで共感できる場があれば
素敵なコミュニティができ菊川が元気になるのではないかと

「繋がる場」でつながって
心と身体が健康になる人を増やしたい

ワークショップ



課題

フェムケアサロンとカフェが一緒にできる
空き家を見つける



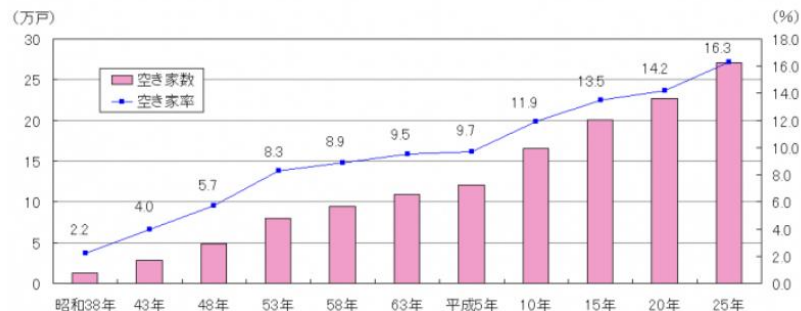
- 空き家をお洒落にリノベーションする事で、近所の方に興味を持ってもらえる
- 建物をシェアする事で収入源を増やせるのではないか

(コロナ禍を経験したので少しでも助け合えるシステムにしたい)

- お互いのお客様達が循環したり、SNSや口コミでの拡散が期待できるのではないか
- 空き家の持ち主が大切に使っていた気持ちを繋いでいきたい

静岡県の空き家状況

静岡県の空き家数及び空き家率の推移（昭和38年～平成25年）



	静岡県	全国順位
空き家数	281,600軒	10位
空き家率	16.4%	13位

静岡県には、こんなにも空き家が増えている
私達の家近所に安く貸し出している家もある

すぐに良い物件が見つかるのではないか！

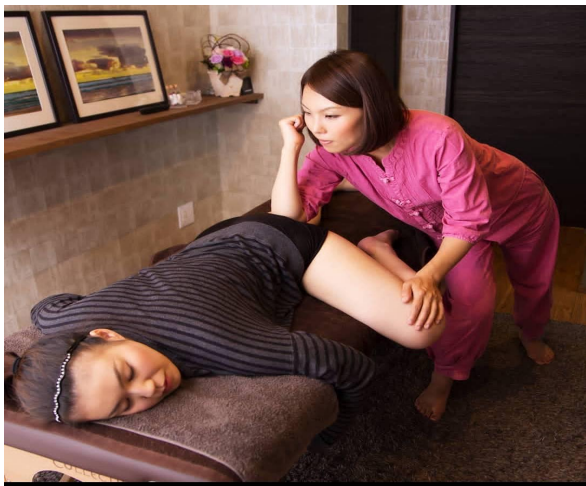
探してみた

- 売ってくれるという家はあったが、金額が高かった
- 空いてはいるが長期休暇に使うので貸せない
- 業者に売りに出した
- 良い物件はあったが場所が悪かった
- 静岡県空き家バンクに菊川の物件がなかった

なかなか良い家が見つからない...



今できる事をやろう！



長谷川
イベントなどに参加 SNS発信でフェムケアの大切さを知ってもらう

栗田
居酒屋の昼間の空いている時間をお借りして、ランチをやってみる
お弁当販売など



今後の活動として

- 活動を発信し、コミュニティを築く
- 空き家が見つかったら、リフォームの過程を SNS にあげ、見ている皆さんが、自分の家を作っているような感覚になり、ファンを増やしていく
- リフォームを地元の業者さんに頼み、認知度をあげていく

I can do it .

【自分にはできる】

空き家情報がありましたら
ぜひ教えてください！



／
よろしく
お願いします
＼

ありがとうございました。

きくがわ未来塾

2022.9.8

高木宏充 松田真和 横田弘行



しあわせのわ
きくがわ

きくがわ 全市民 ヒーロー化 計画

みんなの生きざまが
紡がれるまち♪



描きたい
未来

すべての市民が
どんなときも
自分らしく
生きることができる

どんなときも
その人らしさが
大切にできる

描きたい
未来
のために


すべての市民が
人生や生きる意味について
主体的に考えられる

お互いの想いを
話たり聴いたりできる
繋がりがあある

人生の先輩方が
老いとともに
その人らしさを
奪われていく

医療の現場でも
その人らしさが
尊重されていない





人生会議も
認知度が低い

死を連想させて
受け入れられない

医療の現場でも
実践に結びつかない

誰でも ヒーローインタビュー

対話を通じて大切な生きざまを紡いでいく

話し手は、自らの人生を振り返りながら、
生きざまを肯定的に受け止めていく

聴き手は、生きる知恵や教訓を受け取りながら、
人生観・死生観を養っていく





高齢者施設でのレクリエーション



家族へのプレゼント



病院での当事者理解



地域での世代間交流/多文化共生



パイロット版インタビュー



<話し手>

楽しく話せた

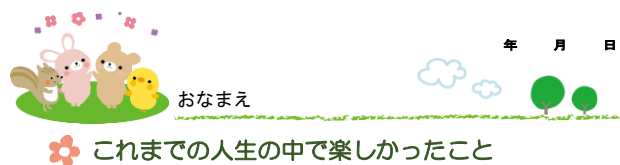
懐かしくあたたかい気持ちになった

恥ずかしいけど嬉しい

<聴き手>

大切な人生のメッセージを
受け取っていると実感できた

とても貴重な経験だった



インタビュー フォーマット作成

- ✓ いつでも 使える
- ✓ どこでも 使える
- ✓ 誰でも 使える
- ✓ 手軽に 使える



市民の人生、
文化や歴史が
蓄積される

きくがわ 全市民ヒーロー化計画

いろんなところで
ヒーローインタビューが実施される

菊川市民（ヒーローたち）の
インタビューが蓄積されていく

お互いの生きざまが紡がれていく

どんなときも自分らしく生きられる

“しあわせのわ”が大きく広がる



きくがわ 全市民ヒーロー化計画

仲間を集めたい！

安心して対話できる場を作りたい！

“これからノート”とのコラボしたい！

社会的孤立にもアプローチしたい！

「きくがわモデル」として発信したい！



まちづくり

「未来塾」始動

菊川、リーダー養成

まちづくりのリーダーを育てる菊川市市民協働センター主催の「きくがわ未来塾」が、同市プラザきくろで始まった。写真。九月までに全五回の講座を開き、未来に向けたまちづくりプランの企画や実践手法などを市民にアドバイスする。



初回のこの日は、受講を希望した市民十五人が参加。NPOサプライズ代表理事で内閣官房地域活性伝

道師の飯倉清太さんが講師を務め、地域活動を実践するヒントを助言した。

飯倉さんは「まずは資料を見せながら「まずは当事者意識を持つて考え、行動してみる」ことが必要」と呼び掛けた。同塾修了生による活動事例の紹介もあり、参加者たちはそれぞれが思い描くまちづくりプランのイメージを高めていった。
(夏目貴史)



市民がまちづくりの企画を発表した未来塾公開プレゼンテーション＝菊川市のプラザきくる

菊川の魅力高めよう

未来塾 市民がまちづくり提案

菊川市市民協働センター主催の「きくがわ未来塾」の公開プレゼンテーションが8日夜、同市役所庁舎東館プラザきくるで開催された。参加者18人が5班に分かれ、地域の魅力を高めるまちづくりの企画を発表した。約50人が聴講した。

未来塾は5回講座で

6月から始まった。各班は楽しく草刈りができるプロジェクトや、子育て中の母親に元気を与える駄菓子屋の設置、火剣山周辺のハイキングマップづくり、空き家を活用した女性のためのサロンと地元野菜を使ったカフェの開設、一人一人の生きざまをインタビューす

る計画を提案。仮説を基に実践した結果を振り返り、今後の展望も語った。

講師のNPO法人代表の飯倉清太代表理事は「課題や目標、手段を順序立てて発表し参加者の思いを見える化できた。多くの人がつながって菊川をさらに発展させてほしい」と講評した。

未来のきくがわのまちづくり

きくがわ 未来塾

あなたも活動してみませんか



連続5回講座

人材育成講座



2022. 6/7 火 ~ 9/8 木

菊川市役所東館 プラザきくる3階会議室

(菊川市堀之内61)

菊川のまちの魅力を高めるため、**自分でも何かしたい！地域で活動したい！**そう思っている人はいませんか？
同じように考えている仲間と一緒に、まちづくりのプランを企画し、実際の活動につなげてみましょう！

第1回 6/7 火 18:30~20:30	オリエンテーション「未来塾とは？」 きくがわ未来塾修生による「活動の紹介」	第4回 8/4 木 18:30~20:30	プレプレゼンテーション チームでまちづくりプランを 発表しよう
第2回 6/23 木 18:30~20:30	個人企画発表&チーム分け 自分のアイデアを形にして発表しよう	第5回 9/8 木 18:30~20:30	公開プレゼンテーション
第3回 7/7 木 18:30~20:30	チームディスカッション チームのメンバーと実現可能なまちづくり を考えよう	* 連続5回講座です。 全回参加できない場合はご相談ください。	

対象 まちづくりや地域活動に興味がある方（高校生は保護者の承諾を得てください） 定員 15人

参加料 1,000円（全5回通して）、学生無料



アドバイザー

きくがわ未来会議
（きくがわ未来塾OB）

team439 代表 宇佐美 竜一氏 ▶

◀ NPO 法人うまのあと
理事長 小林 雅幸氏



メイン講師

飯倉 清太氏 ▶

特定非営利活動法人 NPO サプライズ代表理事
内閣官房地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー

1970年静岡市生まれ・伊豆市在住。
静岡県を中心に現場で培ったノウハウを活かし、
地域のリーダーの育成や、新たな地域の魅力の発掘、
販路開拓やビジネスモデルの構築などを実施。



申込み

氏名（年齢）、住所、電話番号、メールアドレス、職業をご記入のうえ、FAX かメールで申込み
ください。また、右の google フォームからも申込みいただけます。



申込みフォーム

菊川市市民協働センター 〒439-8650 菊川市堀之内 61 菊川市庁舎東館 プラザきくる 2 階
✉ kikucen1@sage.ocn.ne.jp TEL&FAX 0537-35-2220

<https://www.kikucen.net/>